

アムドチベット語色卡 [gSerkha] 方言 (道孚県) における チベット文語形式との音対応 語彙リストを添えて

鈴木 博之

復旦大学

キーワード：アムドチベット語、音声学、方言学、チベット文語対応形式、歴史言語学

1 はじめに

本稿は四川省甘孜 [dKar-mdzes] 族自治州道孚 [rTa'u] 県色卡 [gSer-kha] 郷で話されるアムドチベット語 gSerkha (色卡) 方言のチベット文語 (以下「藏文」) 形式との対応関係を明らかにする。これを通じて、gSerkha 方言の音声記述を扱う鈴木 (2015) の内容を補完する。また、本稿末尾に語彙資料 (約 2000 語) を付す。

1.1 gSerkha 方言の位置づけ

鈴木 (2015) において、gSerkha 方言を研究対象とする背景について当時の見解をまとめている。それについては繰り返さないが、その発表以降に進展した研究について、以下にまとめる。

gSerkha 方言は、チベット系諸言語 (Tibetic languages; Tournadre 2014 参照) のうち、アムドチベット語に属する方言である。アムドチベット語は、狭義での地域方言 (行政区分による地名に基づく方言) で分類することは困難である¹が、その歴史的発展を考えると、ツォワ (藏文 *tsho-ba*) という集団 (Tsering Samdrup & Suzuki 2017 参照) を考慮に入れることで、ある程度の分布地域を定めることができる。この分類を採用した研究は現時点では少なく²、Tsering Samdrup & Suzuki (2017)、Suzuki & Sonam Wangmo (2019)、Tournadre & Suzuki (2021) などが見られ、今後も研究の蓄積が必要である³。

ツォワを考慮に入れた場合、gSerkha 方言の話者は「メワ (藏文 *rMe-ba*)」というツォワと関連し、色卡郷に南接する康定 [Dar-mdo] 市塔公 [lHa-sgang] 鎮の Naglungma と呼ばれる牧民集団と近親関係にある (Suzuki & Sonam Wangmo 2019)。それぞれのアムドチベット語も極めて類似すると考えて問題ない。すなわち、gSerkha 方言は Naglungma の話す gSerchuka 方言や rDora dKarmo 方言⁴などと類似すると見てよい。

¹ しかしながら、個別に方言を指示するとき、行政区分に基づく名称を与えるという原則は、なお有効としている。「gSerkha 方言」という名称もまたしかりである。

² 先行研究におけるアムドチベット語の分類方法は、生活様式と言語特徴を重ね合わせたものが多数を占める (瞿靄堂、金效静 1981; 張濟川 1993; Cham-tshang Padma Lhun-grub 2009)。

³ Nicolas Tournadre との個人談話 (2018) によると、Tournadre 氏は 1990 年代という早い段階において、ツォワを考慮に入れた分類を計画していたという。

⁴ 分布地点の詳細は Suzuki & Sonam Wangmo (2019) および鈴木、四郎翁姆 (2021) を参照。

1.2 本稿の目的と構成

本稿の目的は、gSerkha 方言の音形式と蔵文形式の対応関係を明らかにすることである。蔵文と口語形式の対応関係は、チベット系諸言語の特徴を分析する伝統的な手法であり、西 (1986) や西田 (1987)、江荻 (2002)、張濟川 (2009:259-357) などの先行研究で、方言研究すなわち歴史言語学的研究に寄与する特徴が示されている。

一方で、Häsler (1999) などが述べるように、蔵文と口語形式の対応関係を明らかにすることが口語の記述研究においても必要な作業であると考えられるものもある。ただし注目すべき点が分析の対象となる方言によって異なってきたり、必ずしも先行研究に扱われる蔵文との対応関係を見るだけでは十分でない。また、アムドチベット語においては、音節のおかれる環境によって音対応に異なりが現れるなど、一定の環境に場合分けして記述する必要もある。本稿では、この点に注意しつつ、歴史言語学的研究に寄与することを目的とし、要を得た記述を行う。

本稿の構成は次のようである。まず2節で gSerkha 方言の音体系の一覧を提示する。ついで、3節で gSerkha 方言の蔵文対応形式を記述し、考察を加える。

本稿で用いる音表記は、Tournadre & Suzuki (2021) に言及される *pandialectal phonetic description* に従う。具体的には、国際音声字母 (IPA) で規定されるもののほか、朱曉農 (2010) で明確に定義される主に中国で使用されている音声記号も断りなく用いる⁵。

gSerkha 方言の言語資料は筆者が 2014 年 2 月に華侃 主編 (2002) の語彙表に基づいて収集した一次資料を用いる。主たる調査協力者はドガク・タンジン [mDo-sngags bsTan-'dzin] さん (男性、20 代) で、色卡郷出身である。アイデンティティーとして牧畜民であるが、生活様式について見ると、言語形成期を遊牧民としてではなく、定住民として過ごしている。このほか、遊牧民として言語形成期を過ごした複数の gSerkha 方言話者からも随時調査協力を得た。

2 gSerkha 方言の音体系一覧

ここでは gSerkha 方言の音体系を音節構造、子音、母音の順に紹介する。なお、超分節音素は認められない。詳細は鈴木 (2015) を参照。

音節構造

音節構造は、鈴木 (2005) を参照して以下のように記述する。

$${}^c C_i GVC$$

このうち C_i (主子音) と V (音節核の母音) が必須である。

最初頭子音 c は特定の子音に限られ、通常は主子音よりも聞こえが低い。わたり音 G は /w/ に限定される。よって最大の初頭子音の構造は 3 子音連続となる。音声学的には $[CC_i]$ と記述で

⁵ Suzuki (2016) もあわせて参照。

きる最初頭子音が主子音と同様に明瞭に聞こえる事例がある⁶が、両者の間に弁別的な差異を見出すことはなく、加えて音声学的にゆれも認められるため、音節構造を表す上で表記の区別を設ける必要性は認められない。

音節核になる母音の位置には、1音節につき1つの母音が出現する。母音連続は1音節内で認めない。

末子音は特定の子音に限られる。母音と末子音の組み合わせには制限があり、詳細は表2を参照。

子音

音節構造の主子音位置に現れる音素の一覧は以下のようになる。

表1：gSerkha 方言の主子音 (C_i) となりうる子音一覧

		両唇	歯茎	そり舌	硬口蓋 前 後	軟口蓋	口蓋垂	声門
閉鎖音	無声有気	p ^h	t ^h	t ^h	c ^h	k ^h	q ^h	
	無声無気	p	t	t	c	k	q	ʔ
	有声	b	d	d̪	ɟ	g		
破擦音	無声有気		ts ^h		tɕ ^h			
	無声無気		ts		tɕ			
	有声		dz		dʒ			
摩擦音	無声有気		s ^h		ɕ ^h			
	無声無気	ɸ	s	ʃ	ɕ	x	χ	h
	有声		z		ʒ	ɣ		ɦ
鼻音	有声	m	n		ɳ	ŋ		
	無声	m̥	n̥		ɳ̥	ŋ̥		
流音	有声		l	r				
	無声		l̥					
半母音	有声	w			j			

音節初頭に現れる子音連続 (^CC_iG) のうち、^CC_i については、音の性質に基づいて、次のように分類できる。

1. 鼻音類 (前鼻音類)

- (a) 同時調音的鼻音 (狭義の前鼻音; 調音位置は C_i に一致)
- (b) 非同時調音的両唇鼻音 [m̥, m̥]

⁶ たとえば、^βni/ [βni] 「二」など。

2. 非鼻音類

- (a) 両唇閉鎖音 [p, b]
- (b) 両唇継続音 (摩擦音 [ϕ , β]、半母音 [w])
- (c) そり舌継続音 (摩擦音 [θ]、流音 [γ])
- (d) 軟口蓋摩擦音 [x , γ]
- (e) 口蓋垂摩擦音 [χ , ψ]
- (f) 声門摩擦音 (前気音) [h , h^*]

母音

舌位置による分類では、/i, e, æ, a, ɐ, ɔ, o, u, ə/の母音が認められる。

すべての母音について、長短および鼻母音/非鼻母音の対立は認められない。

母音と末子音 (VC) の組み合わせには、次のものが認められる。

表2：音節核の母音と末子音の組み合わせ

母音 \ 末子音	なし	p	t	k	q	m	n	ŋ	l	r
i	○	—	○	○	—	○	○	○	○	—
e	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
æ	○	—	—	—	○	—	○	○	—	—
a	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
ɐ	○	—	—	—	○	—	○	○	○	—
ɔ	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
o	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
u	○	○	—	○	—	○	○	○	○	—
ə	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

末子音/k/と/q/は、母音/e/と/ə/について対立を形成する点に特に注目できる。

3 gSerkha 方言における蔵文と口語形式の対応関係

本節では、蔵文形式をもとに、gSerkha 方言と蔵文との音対応を記述する。ただし、記述はまず口語形式の初頭子音部分 (3.1) と母音+末子音部分 (3.2) の2種に分け、それぞれさらに下位区分を設けて議論する。最後に、音節全体にかかわる現象 (3.3) をまとめる。

蔵文は de Nebesky-Wojkowitz (1956) に基づく転写で示し、例語に続けて () に入れ、イタリック体で掲げる。チベット文字の表す音価は格桑居冕・格桑央京 (2004:379-390) を参照。

3.1 初頭子音部分

初頭子音は、それが語頭に位置するか語中に位置するかで若干の異なりが認められ、語中にくる場合には先行音節末の蔵文が後続の音節初頭に影響する事例がある。このため、まず初めに語頭に位置する例についてまとめ、そののち語中における例を取り上げる。

まず語頭位置に関して扱う項目としては、蔵文単子音字の音対応、蔵文阻害音基字に先行する子音字がつく形式の音対応、蔵文足字 y 対応形式、蔵文足字 r 対応形式、蔵文基字 l および足字 l, lh 対応形式、蔵文足字 w 対応形式、蔵文 s+ 鼻音字を含む形式、前鼻音を含む子音連続、そのほかの特徴に分ける。これに続き、語中位置における特記事項をまとめる。

3.1.1 単子音字の対応関係

以下、蔵文有気音字、非有気音閉鎖・破擦音字、摩擦音字、共鳴音字に分類して掲げる。

蔵文有気音字 kh, ch, th, ph, tsh は、一部の ph を除いてそれぞれ調音位置の対応する有気音で現れる。たとえば、以下のようである。

k ^h a 「口」 (<i>kha</i>)	p ^h u ron 「鳩」 (<i>phug ron</i>)
tɕ ^h ə 「水」 (<i>chu</i>)	tsh ^h a 「からい」 (<i>tsha</i>)
t ^h ap ka 「かまど」 (<i>thab ka</i>)	

蔵文 ph には無声声門摩擦音に対応する例がある。これらの現れる/h/は、/p^h/で実現しない。

haq 「ぶた」 (<i>phag</i>)	ham 「負ける」 (<i>pham</i>)
ha ma 「両親」 (<i>pha ma</i>)	hoq 「射とめる」 (<i>phog</i>)

蔵文非有気音閉鎖・破擦音字 k, g, c, j, t, d, p, b, ts, dz, Ø (=a chen) は、b および少数の p を除いてそれぞれ調音位置の対応する無声無気音で現れる。たとえば、以下のようである。

kɕ 「柱」 (<i>ka ba</i>)	pal ma 「蓮」 (<i>pad ma</i>)
ko zi 「衣服」 (<i>gos zan</i>)	tsan dan 「梅檀」 (<i>tsan dan</i>)
tɕoq tse 「テーブル」 (<i>cog rtse</i>)	tsa re tsa re 「めちゃくちゃの」 (<i>dza re dzo re</i>)
tɕa 「茶」 (<i>ja</i>)	
tar 「氷」 (<i>dar</i>)	ʔa ma 「母」 (<i>a ma</i>)

蔵文 Ø(=a chen) のうち、fia pʔa 「土ねずみ」 (*a bra*) は例外的対応といえる。

蔵文 b および少数の p は有声両唇接近音に対応する。

wa mo 「霜」 (<i>ba mo</i>)	wor mo 「ひざ」 (<i>pus mo</i>)
wo rək 「チベット族」 (<i>bod rigs</i>)	wa ɣa 「皮膚」 (<i>pags pa</i>)
wi 「子牛」 (<i>be'u</i>)	

蔵文摩擦音字 sh, zh, s, z, h, ' は、最後の ' を除き、蔵文の表す調音位置はそのまま⁷に、sh, s, h は有気音、zh, z は有声音に対応する。' については、有声軟口蓋摩擦音に対応する。たとえば、以下のようである。

⁷ アムドチベット語では、sh に /ʃ^h/ が対応する事例 (Suzuki et al. 2019) が多いが、gSerkha 方言はそうでない点で、注目に値する。

ʃ ^h a mo 「きのこ」 (<i>sha mo</i>)	zam ba 「橋」 (<i>zam ba</i>)
za ra 「目が見えない」 (<i>zhar ba</i>)	ha ko 「理解する」 (<i>ha go</i>)
s ^h a 「土」 (<i>sa</i>)	yo ma 「乳」 (<i>'o ma</i>)

蔵文共鳴音（鼻音、半母音）字 ng, ny, n, m, w, j は、w を除いてそれぞれ蔵文の表す音価のとおりに対応する。たとえば、以下のようなものである。

ŋa 「私（絶対格）」 (<i>nga</i>)	mar 「バター」 (<i>mar</i>)
ŋa 「魚」 (<i>nya</i>)	wa k ^h a 「水槽」 (<i>wa kha</i>)
na 「病気である」 (<i>na</i>)	jar 「上へ」 (<i>yar</i>)

蔵文 w の対応形式は、確認できた例が少ないが、ya 「狐」 (*wa*) のように有声軟口蓋摩擦音に対応するものもある。

3.1.2 蔵文阻害音基字に先行する子音字がつく形式との音対応

蔵文阻害音基字に先行する子音字がつく事例は非常に多く、また音対応が複雑である。以下に有声性と子音連続に大別して記述する。

有声性について

3.1.1 で見た音対応には、有声閉鎖・破擦音が現れない。これらは蔵文において、基字 g, j, d, b, dz に先行する子音字がある場合に現れる。先行子音字が m, ' かそれ以外かで分けて例をあげる。前者は鼻音が先行子音として現れ、後者は非鼻音が先行子音として現れる。

先行子音字が m, ' のもの

^m go 「頭」 (<i>mgo</i>)	ⁿ dam ⁿ joq 「泥」 (<i>'dam bag</i>)
ⁿ gu 「伝染する」 (<i>'go</i>)	^m bə 「虫」 (<i>'bu</i>)
^m dze 「男性器」 (<i>mje</i>)	^m dzo 「ゾ ⁸ 」 (<i>mdzo</i>)
ⁿ dzam bo 「つるつるの」 (<i>'jam po</i>)	ⁿ dzən 「ほおぼる」 (<i>'dzin</i>)
^m doq 「色」 (<i>mdog</i>)	

先行子音字が m, ' 以外のもの

^b go 「分かち合う」 (<i>bgo</i>)	^b dət 「悪魔」 (<i>bdud</i>)
^r ge ^r gen 「教師」 (<i>dge rgan</i>)	^h doŋ wo 「木」 (<i>sdong bo</i>)
^h ga mo 「妻」 (<i>dga' mo</i>)	^h ba ^r lap 「波」 (<i>rba rlabs</i>)
^r dzi ʃ ^h əl 「痕跡」 (<i>rjes shul</i>)	^r dza ma 「ポット」 (<i>rdza ma</i>)
^h dze 「蚤」 (<i>lji ba</i>)	

⁸ ヤクと牛の交配種の雄を指す。

ただし蔵文 sb の組み合わせは、^wr/に対応する例が認められる。

^wre wa 「蛙」 (*sbal ba*) ^wraɛŋ 「浸す」 (*sbang*)
^wrom 「太い」 (*sbom*)

これらには、蔵文に反映されない/r/が含まれる。この特徴は蔵文成立より時代をさかのぼる音特徴の留保と考えられる (Tournadre & Suzuki 2021) が、チベット・ビルマ諸語の再構形式にさかのぼるものでもないようである (Matisoff 2015 参照)。

また、蔵文 db の組み合わせは、^hy/に対応する。

^hyək 「空気」 (*dbugs*) ^hyæŋ 「権力」 (*dbang*)

基字が非有声閉鎖・破擦音の場合、無声音 (有気、無気) に対応する。

^hku xa 「口のきけない人」 (*lkugs pa*) ^ŋthən ^hgam 「引き出し」 (*'then sgam*)
^ŋk^hɛl 「つむぐ」 (*'khal*) ^mthə mo 「親指」 (*mthe bong*)
^mk^hwar 「町」 (*mkhar*) ^hpəl 「発展させる」 (*spel*)
^htɕe 「湿った牛糞」 (*lci ba*) ^mp^hər 「飛ぶ」 (*'phur*)
^ŋtɕ^hoq 「ゆがんだ」 (*'khyogs*) ^htsa wo 「さび」 (*gtsa'*)
^mtɕ^han joq 「脇」 (*mchan 'og*) ^ŋts^hoŋ 「売る」 (*'tshong*)
^htar ga 「クルミ」 (*star ga*) ^mts^ho 「湖」 (*mtsho*)

ただし蔵文 sp の組み合わせは、^ɕs/に対応する例が多い。

^ɕsaŋ 「草地」 (*spang*) ^ɕsə 「毛」 (*spu*)

また、蔵文 dp の組み合わせは、^ɣ/を含む形式に対応する例が多い。

^ɣwa wo 「英雄」 (*dpa' bo*) ^ɣon bo 「役人」 (*dpon po*)

摩擦音字の場合、先行子音の有無にかかわらず有声性の観点からは蔵文と口語形式の間に対応関係がある。以下に基字に先行子音字がある場合の例を掲げる。

^ɣɕæq 「解剖する」 (*gshags*) ^hsum 「三」 (*gsum*)
^wzə 「四」 (*bzhi*) ^hzan 「袈裟」 (*gzan*)

子音連続の構成について

子音連続の構成については、初頭子音の調音方法によって分類する必要がある。

まず、第1要素が鼻音の場合、上に見たように、蔵文先行子音字が m の場合は後続子音にかかわらず両唇鼻音が対応し、先行子音字が ' の場合は後続子音の調音位置と同じ位置の鼻音 (前

鼻音) が現れる。上で例を挙げなかった主たる子音が有気音の場合も同様であり、たとえば次のようである。

^m p ^h ər 「飛ぶ」 (<i>'phur</i>)	^ɰ k ^h or lo 「車輪」 (<i>'khor lo</i>)
^m t ^h oŋ 「見える」 (<i>mt hong</i>)	^m ts ^h an mo 「夜中」 (<i>mtshan mo</i>)
^m k ^h we ma 「腎臓」 (<i>mkhal ma</i>)	^ɳ ts ^h o wa 「生活」 (<i>'tsho ba</i>)

ただし、次のように、無声鼻音に対応する例も認められる。

^ɳ oŋ 「飲む (命令)」 (<i>'thung</i>)	^m aq 「脈打つ」 (<i>'phag</i>)
---	--

ここでは、初頭子音の調音位置について、蔵文におけるどのような先行子音字が gSerkha 方言の両唇音、そり舌音、軟口蓋～口蓋垂音、声門音といった先行子音に対応するのかを記述する。上で触れた個別の蔵文の組み合わせに認められる対応関係については以下で触れない。

蔵文前接字 b は両唇音に対応するが、閉鎖音か継続音かは蔵文からは予測しがたい。ただし、基字が摩擦音の場合は先行子音が両唇継続音となる。たとえば次のようである。

^p tson ^ɰ k ^h æŋ 「監獄」 (<i>btson khang</i>)	^ɸ tso ɣa 「汚い」 (<i>btsog pa</i>)
^b dət 「悪魔」 (<i>bdud</i>)	^w zə ^p tɕə 「40」 (<i>bzhi bcu</i>)

また、bk の組み合わせをはじめ、同じく両唇の調音となる m を含む mkh, mg の組み合わせについては、わたり音 G の位置に /w/ を含む形式に対応する例がある。

^p kwa 「命令」 (<i>bka'</i>)	^m gwa ra 「鍛冶屋」 (<i>mgar ba</i>)
^m k ^h war 「町」 (<i>mkhar</i>)	

蔵文頭字 r, s, l および蔵文前接字 d はそり舌音に対応するものが多い。

^s ta 「馬」 (<i>rta</i>)	^r got 「鷹」 (<i>rgod</i>)
^s ta 「見る」 (<i>lta</i>)	^r go 「門」 (<i>sgo</i>)
^s taq 「虎」 (<i>stag</i>)	^r gaŋ wa 「膀胱」 (<i>lgang ba</i>)
^s tɕe 「舌」 (<i>lce</i>)	^r gən ^m ɖum 「ぶどう」 (<i>dgun 'brum</i>)
^s ka ro 「白い」 (<i>dkar po</i>)	^r dzə ma 「眉毛」 (<i>rdzi ma</i>)

ただし、前気音に対応する例もあり、特に 2 音節語の初頭音節に現れる。

^h kar ma 「星」 (<i>skar ma</i>)	^ɰ go ra 「竹垣」 (<i>sgo ra</i>)
^h ku xa 「唾者」 (<i>lkugs pa</i>)	^ɰ gi pa 「育ちすぎの」 (<i>rgas pa</i>)
^h ka ju 「ボウル」 (<i>dkar yol</i>)	

蔵文前接字 g は軟口蓋～口蓋垂音に対応するものが多い。たとえば次のようである。

ʔtɕən 「小便」 (*gcin*)

$\text{ʔtɕə}^{\text{b}}\text{duk}$ 「傘」 (*spyi gdugs*)

ʔsor 「錐」 (*gsor*)

ʔzoq 「削る」 (*gzhog*)

ただし、少数ながら前気音に対応する例もある。

$\text{h}^{\text{t}}\text{oj}$ 「放つ」 (*gtong*)

$\text{h}^{\text{i}}\text{doj ma}$ 「梁」 (*gdung ma*)

$\text{h}^{\text{i}}\text{dan}$ 「座布団」 (*gdan*)

声門音、すなわち前気音は、上に述べたように、蔵文頭字 *r, s, l*、蔵文前接字 *d, g* のすべてに対応する。どの語が声門音になるかは予測できる性格のものではない。

3.1.3 蔵文足字 *y* 対応形式

蔵文足字 *y* 対応形式は大きく蔵文 *Py* 対応形式と *Ky* 対応形式に分かれる。蔵文 *Py* とは基字 *p, ph, b* に足字 *y* を伴う形式を含む形式についていい、蔵文 *Ky* とは基字 *k, kh, g* に足字 *y* を伴う形式を含む全ての対応形式についていう。

蔵文 *Py* は基本的に両唇継続音が先行する前部硬口蓋摩擦音に対応する。たとえば、以下のようである。

$\text{ʔtɕ}^{\text{h}}\text{e}$ 「開ける」 (*phyi*)

$\text{w}^{\text{z}}\text{ən}$ 「与える」 (*sbyin*)

ʔtɕa 「鶏」 (*bya*)

ただし前部硬口蓋破擦音に対応する例がある。たとえば、以下のようである。

$\text{ʔtɕet k}^{\text{h}}\text{a}$ 「初春」 (*dpyid ka*)

$\text{m}^{\text{d}}\text{zor}$ 「受け取る」 (*'byor*)

$\text{b}^{\text{d}}\text{zar}$ 「貼る」 (*sbyar*)

蔵文 *Ky* は基本的に硬口蓋閉鎖音に対応する。たとえば、以下のようである。

$\text{c}^{\text{h}}\text{er}$ 「持ち歩く」 (*khyer*)

$\text{b}^{\text{j}}\text{e tɕə ca}^{\text{b}}\text{dən}$ 「87」 (*brgyad cu gya bdun*)

$\text{h}^{\text{i}}\text{ja}^{\text{m}}\text{ts}^{\text{h}}\text{o}$ 「海」 (*rgya mtsho*)

ただし前部硬口蓋破擦音に対応する例がある。たとえば、以下のようである。

tɕæŋ 「壁」 (*gyang*)

$\text{h}^{\text{i}}\text{dza}^{\text{r}}\text{ək}$ 「漢族」 (*rgya rigs*)

3.1.4 蔵文足字 *r* 対応形式

蔵文足字 *r* を含む形式には、*Pr* (=pr, phr, br を含む形式)、*Kr* (=kr, khr, gr を含む形式)、*tr/dr* など閉鎖音を含むもののほか、*sr* などもある。*gSerkha* 方言では、*Pr, Kr, tr/dr, sr* で異なる対応関係を示す。それぞれ順にみていく。

まず、Pr 対応形式は両唇音を先行子音とするそり舌閉鎖音で現れるものが多数である。たとえば以下のようなものである。

ta ^p t ^h uk 「孤児」 (<i>dwa phrug</i>)	ϕ ^t el 「さる年」 (<i>sprel</i>)
p ^t əq 「岩石」 (<i>brag</i>)	m ^q i 「米」 (<i>'bras</i>)
b ^q el 「裂く」 (<i>dbral</i>)	

中には両唇音を先行子音とするそり舌摩擦音もしくは/r/で現れるものもある。これらは蔵文 spr, sbr に対応するものが多い。たとえば以下のようなものである。

ϕ ^ʂ ən 「雲」 (<i>sprin</i>)	^w ri 「蛇」 (<i>sbrul</i>)
ϕ ^ʂ i 「猿」 (<i>spre'u</i>)	^w ra 「黒テント」 (<i>sbra</i>)

例外として、^wro ra^sta 「味わう」 (*bro ra lta*)、^ʂjæq^wra 「雅拉雪山」 (*bzhag bra*) のように、蔵文 br に/^wr/が対応する例がある。

Kr 対応形式については、硬口蓋閉鎖音に対応するもの、前部硬口蓋破擦音に対応するもの、およびそり舌閉鎖音に対応するものの3種類がある。いずれに対応するかは音韻論的な基準では決まらないようである⁹。そり舌閉鎖音に対応するのは文化語彙が多く、読書音の影響が考えられる。

硬口蓋閉鎖音に対応する例は、以下のようなものである。

c ^h ət 「けん引する」 (<i>khrid</i>)	^ɲ jam 「傍」 (<i>'gram</i>)
co 「小麦」 (<i>gro</i>)	^ɲ jo 「行く [未完了]」 (<i>'gro</i>)

前部硬口蓋破擦音に対応する例は、以下のようなものである。

t ^ɕ hæq 「血」 (<i>khrag</i>)	^h tɕa 「髪」 (<i>skra</i>)
^m t ^ɕ hə ^ɹ ɕa 「胆嚢」 (<i>mkhris pa</i>)	

そり舌閉鎖音に対応する例は、以下のようなものである。

t ^h ə 「1万」 (<i>khri</i>)	tə ma 「影」 (<i>grib ma</i>)
p ^t a ^ɕ hi 「吉祥」 (<i>bkra shis</i>)	^b ɕaŋ 「数える」 (<i>bgrang</i>)

tr/dr 対応形式については、(ʔ)dr のみが確認されているが、そり舌閉鎖音に対応する。たとえば、以下のようなものである。

⁹ この現象は他のアムドチベット語 (王雙成 2012) のほか、カムチベット語 (鈴木 2018) やそのほかのチベット系諸言語 (仁増旺姆 2013) にも認められる。

tuk 「6」 (<i>drug</i>)	^u dɔ 「尋ねる [未完了]」 (<i>'dri</i>)
tæŋ ^ɸ c ^h oq 「おもての」 (<i>drang phyogs</i>)	^u dɛ 「鬼」 (<i>'dre</i>)

sr 対応形式については、基本的にそり舌摩擦音が対応する。たとえば、以下のようなものである。

ʂoq 「命」 (<i>srog</i>)	ʂam 「かわうそ」 (<i>sram</i>)
ʂæŋ mo 「妹」 (<i>srang mo</i>)	ʂa mo 「硬い」 (<i>sra mo</i>)

中には無声無気そり舌閉鎖音で現れるものもある。たとえば以下のようなものである。

^s tɔ 「火であぶる」 (<i>sro</i>)	^s tɔŋ 「守る」 (<i>srung</i>)
--	--

3.1.5 蔵文基字・足字 l、および lh 対応形式

gSerkha 方言では、基本的に蔵文 l には /l/ が対応する。たとえば、以下のようなものである。

lam 「道」 (<i>lam</i>)	lo 「年」 (<i>lo</i>)
la qa 「手」 (<i>lag pa</i>)	li p ^h oŋ 「体」 (<i>lus phung</i>)

gSerkha 方言では、蔵文 zl, sl を除き蔵文足字 l には何らかの先行子音を伴う /l/ が対応する。たとえば、以下のようなものである。

^ɸ lo ŋə 「茶色の牛」 (<i>glang ba</i>)	^ɸ la pa 「脳」 (<i>klad pa</i>)
^ɸ loŋ 「風」 (<i>rlung</i>)	^w la ma 「ラマ」 (<i>bla ma</i>)

蔵文 zl には /^ɸdz/ が対応する。たとえば、^ɸdzɔ 「月 (天体)」 (*zla ba*) のようである。

一方、蔵文 sl には前気音を伴う /^ɸl/ が対応する。蔵文 lh には前気音を伴わない /l/ が対応する。たとえば、以下のようなものである。

^h loq 「倒す」 (<i>slog</i>)	la 「神」 (<i>lha</i>)
^h loptʰa 「学校」 (<i>slob grwa</i>)	lot 「ゆるい」 (<i>lhod</i>)

ただし、^ɸlam 「靴」 (*lham*) は例外といえる。

3.1.6 蔵文足字 w 対応形式

gSerkha 方言では、蔵文足字 w に対応する音形式は現れない。たとえば、以下のようなものである。

^s tʰa 「草」 (<i>rtswa</i>)	ra 「角 (つの)」 (<i>rwa</i>)
ʒa 「帽子」 (<i>zhwa</i>)	tʰa 「塩」 (<i>tshwa</i>)

3.1.7 蔵文鼻音字が基字となる形式

gSerkha 方言では、蔵文鼻音字が基字として単独で現れる場合は、それぞれの調音位置の有声鼻音が現れる。たとえば、以下のようなものである。

mə tik 「真珠」 (<i>mu tig</i>)	ŋa 「魚」 (<i>nya</i>)
na nəŋ 「去年」 (<i>na ning</i>)	ŋa 「私」 (<i>nga</i>)

蔵文鼻音字基字に先行子音字 s, r, l, d が存在するとき、その先行子音字の性質によらず鼻音部分が無声化することがある。たとえば、以下のようなものである。

ŋeŋ 「心臓」 (<i>snying</i>)	ʂŋa 「五」 (<i>lnga</i>)
ʂŋaq 「膿」 (<i>rnag</i>)	ʂŋi 「銀」 (<i>dngul</i>)

以上について、同一の語（形態素）が語中にくると自動的に有声音になる例もある。たとえば、pʰtʂo ŋa 「十五」 (*bco lnga*) のようである。

ただし、以上の条件でも有声音にのみ対応する例もある。また、先行子音字が g の場合は常に有声音に対応する。たとえば、以下のようなものである。

ʰne 「耳」 (<i>rna ba</i>)	ʰmot 「呪う」 (<i>dmod</i>)
ʰma 「傷」 (<i>rma</i>)	ʰnam 「天」 (<i>gnam</i>)
ʰŋinj ŋa 「古い」 (<i>rnying ba</i>)	ʰnan 「押しつける」 (<i>gnon</i>)

ただし、有声鼻音を主子音とするものに無声音の先行子音が現れる組み合わせも散見される。たとえば、以下のようなものである。

ˣŋer wa 「管家」 (<i>gnyer ba</i>)	ˣma ro 「赤い」 (<i>dmar po</i>)
----------------------------------	--------------------------------

蔵文鼻音字基字に先行子音字 m が存在するとき、基本的に両唇鼻音を初頭子音とする形式に対応する。たとえば、以下のようなものである。

ᵐna ma 「嫁」 (<i>mna' ma</i>)	ᵐŋa ru 「甘い」 (<i>mngar po</i>)
ᵐna ʂci 「誓う」 (<i>mna' skyel</i>)	ᵐŋaq 「派遣する」 (<i>mngag</i>)

以上に加えて、gSerkha 方言では、蔵文 m を初頭子音とする語が両唇鼻音を伴う前部硬口蓋鼻音/ᵐn/に対応するものがある。これらは蔵文で後続母音が i または e の場合に認められる。たとえば、以下のようなものである。

^mne 「火」 (*me*)

^mneŋ 「名前」 (*ming*)

^mnik 「目」 (*mig*)

^mnit 「飲み込む」 (*mid*)

^mno 「人」 (*mi*)

蔵文基字 *m* に先行子音字がある場合、^hni/に対応するものもある。たとえば、以下のようである。

^hnik s̄təəq 「蹄鉄」 (*rmig lcags*)

^hno lam 「夢」 (*rmi lam*)

これらの中には古蔵文において *my* とつづられていた語も含まれており、古蔵文の形式に対応関係を求めることもできる。なお、もともと蔵文で *my* を含む例は前部硬口蓋鼻音に対応し、たとえば、以下のようである。

^mno yə 「芽」 (*myu gu*)

^mɲuk ma 「竹」 (*smyug ma*)

さらに、^smon ba 「獵師」 (*rngon pa*) や ^snit 「しりがい」 (*rmed*) のような例外的音対応も少数ながら認められる。

3.1.8 そのほかの特徴

gSerkha 方言において特筆に値する事例に口蓋垂音の存在がある。口蓋垂音を主たる初頭子音としてもつ例は、一定の蔵文との対応関係を認めることができる。口蓋垂閉鎖音/^hq, q/は以下のような例に存在する。

^hve 「雪」 (*kha ba*)

qo qo 「凹の」 (*kong kong*)

^hve ta 「からす」 (*kha ta*)

^ha mo 「苦い」 (*kha mo*)

^hwe 「スープ」 (*khu ba*)

^ha wa 「渋い」 (*kha ba*)

^hap 「針」 (*khab*)

^hqoq 「抜く」 (*bkog*)

以上の例で口蓋垂閉鎖音はいずれも蔵文初頭子音 *k* または *kh* と対応している。これらの語のいくつかは、これまでのチベット語諸方言における口蓋垂閉鎖音をめぐり先行研究があげる例と重なるものがある (孫宏開・王賢海 1987、鈴木 2007ab, 2010, 2013, 2014、Suzuki 2009:89-90、鈴木・イエシエムツォ 2006、黄布凡 2012、王雙成 2012 など)¹⁰。蔵文の文字体系では書き分けられないが、口蓋垂閉鎖音と軟口蓋閉鎖音は対立していたことが示唆される。

口蓋垂摩擦音については、3.1.2 で述べた蔵文 *dp* 対応形式のほかにも若干例が認められるが、いずれも蔵文とよく対応するとはいえない。

¹⁰ ただし、gSerkha 方言の近隣に分布する Lhagang (塔公) 方言の口蓋垂音については、対応関係が異なるようである。鈴木、四郎翁姆 (2021) 参照。

χam 「靴」 (*lham*)

χe tsa 「唐辛子」 (? ?)

χe^wzo 「靴屋」 (*lham bzo*)

3.1.9 語中位置の場合の特記事項

語中位置の場合、特定の蔵文のつづりについて、先行音節末と後続音節初頭の間で音節を超えた音対応が認められる。

まず注目するのは、蔵文先行音節末子音字が後続音節の初頭子音になり、先行音節が開音節になるという現象である。

蔵文において先行音節末が g/gs で、かつ後続音節が pa/po の場合、次のように後続音節の初頭が軟口蓋阻害音/口蓋垂阻害音で現れ、かつ先行音節は開音節となる。

^ptɕ^ha qa 「肩」 (*phrag pa*)

^hjo χo 「召使」 (*g.yog po*)

la qa 「手」 (*lag pa*)

^hku xa 「唾者」 (*lkugs pa*)

wa χa 「皮膚」 (*pags pa*)

yu xa 「ふくろう」 (*'ug pa*)

^hcæ χa 「大便」 (*skyang pa*)

ju xo 「カラスムギ」 (*yug po*)

ma χa 「婿」 (*mag pa*)

ɕ^hu χa 「ビヤクシン」 (*shug pa*)

^mdo χa 「牧畜民」 (*'brog pa*)

ⁿth^a χa 「縄」 (*thag pa*)

第2音節の初頭子音の調音位置（口蓋垂音か軟口蓋音か）は第1音節単独の音対応（3.2.2 参照）にしたがって決まると考えられる。

蔵文において先行音節末が ng/ngs で、かつ後続音節が pa/ba の場合、次のように後続音節の初頭が軟口鼻音で現れ、かつ先行音節は開音節となる。

lo ŋa 「谷」 (*lung pa*)

^hk^hə ŋa 「家」 (*khang ba*)

ɕkə ŋa 「足」 (*rkang pa*)

ɕto ŋa 「空の」 (*stong ba*)

次に注目するのは、先行音節末子音が r で、かつ後続音節初頭子音字が p/b の場合、先行音節が開音節となり、後続音節初頭子音が /r/ と対応するというものである。

^she ra 「雹」 (*ser ba*)

ɣma ro 「赤い」 (*dmar po*)

^mgwa ra 「鍛冶屋」 (*mgar ba*)

^mdza ro 「粘つく」 (*'byar po*)

za ra 「視覚障害者」 (*zhar ba*)

ɣsa ra 「新しい」 (*gsar pa*)

zo ra 「鎌」 (*zor ba*)

ɕcə ru 「酸っぱい」 (*skyrur po*)

ɕka ro 「白い」 (*dkar po*)

^mŋa ru 「甘い」 (*mngar po*)

次に注目するのは、例は少数であるが、先行音節末子音が s で、かつ後続音節初頭子音字が p の場合、後続音節初頭子音が蔵文 sp と同じく /^hs/ と対応するというものである。

^hlaŋ ^ɕsa 「蒸気」 (*rlangs pa*)

^ʷni ^ɕsa 「第2」 (*gnyis pa*)

このタイプの音対応は相対的に少ない。

3.2 母音+末子音部分

ここでは、gSerkha 方言の蔵文母音 (a, i, u, e, o) + 後接字の対応形式について、後接字を伴わないとき、閉鎖音の後接字 (b, d, g) を伴うとき、鼻音の後接字 (m, n, ng) を伴うとき、それ以外の後接字 (r, l, s) を伴うときの4種に分類して掲げる。後接字に再後接字 s がつく場合があるが、口語形式に明確な対応関係を得られないため、以下では省略する¹¹。

/ で区切っているものは自由変異ではなく、語ごとに決まっている。すなわち、特定の語には1つの音形式が決まっており、口語形式と蔵文との対応関係が複数認める必要があるということである¹²。

3.2.1 蔵文後接字を伴わないとき

蔵文後接字を伴わないとき、すなわち蔵文において開音節形式 (#, ') となるの場合で、語末位置における基本的な対応関係は以下のように示すことができる。なお、末子音位置に現れる蔵文 ' は音価をもたないと考えられるため、ここに含める。

表3：蔵文開音節形式の音対応

V\C	# / '
a	a
i	ə
u	ə
e	e
o	o

たとえば、以下のようなものである。

^ha 「口」 (*kha*)

^hə 「誰」 (*su*)

^mda 「矢」 (*mda'*)

^ɕke 「首」 (*ske*)

^hə 「犬」 (*khyi*)

^mne 「火」 (*me*)

^{tɕ}ə 「水」 (*chu*)

^rdo 「石」 (*rdo*)

3.2.2 蔵文後接字が閉鎖音字のとき

蔵文後接字が閉鎖音字 (b, d, g) の場合の語末位置における基本的な対応関係は、以下のよう示すことができる。

¹¹ いずれも語末位置で現れる事例を記述する。語中位置の場合は 3.1.9 において記述してある。

¹² なぜそのようなことが起きているのかは共時的記述からでは不明な部分が多く、本稿では扱わない。

表4：蔵文後接字が閉鎖音字の形式の音対応

V\C	b	d	g
a	ap	at	æq / aq / əq / eq
i		it	ik / ək
u	əp / up	ət	uk
e	ep	et / it	ek / əq / eq
o	op	ot	oq

具体例としては、以下のものである。

^h dzap 「背」 (<i>rgyab</i>)	^s naq 「膿」 (<i>rmag</i>)
nəp 「西」 (<i>mub</i>)	p ^h eq 「おすぶた」 (<i>phag</i>)
lep lep 「平らな」 (<i>leb leb</i>)	p ^t əq 「岩石」 (<i>brag</i>)
ⁿ t ^h op 「手に入れる」 (<i>'thob</i>)	^m nik 「目」 (<i>mig</i>)
^s kat 「言語」 (<i>skad</i>)	ts ^h ək 「関節」 (<i>tshig</i>)
^b de ^s cit 「幸せな」 (<i>bde skyid</i>)	^m ɬuk 「龍」 (<i>'brug</i>)
lət 「肥料」 (<i>lud</i>)	^s tsek 「階」 (<i>rtseg</i>)
ɕ ^h et 「力」 (<i>shed</i>)	ʂəq 「やけどする」 (<i>sreg</i>)
^s ɲit 「しりがい」 (<i>rmed</i>)	ʒceq 「円寂」 (<i>gshegs</i>)
wot 「チベット人」 (<i>bod</i>)	ʂoq 「命」 (<i>srog</i>)
tɕ ^h æq 「血」 (<i>khrag</i>)	

語中位置の場合、3.1.9 で述べた「先行音節末が g/gs で、かつ後続音節が pa/ba」という条件下で、表4の対応と比べて、母音の質は表5のまま末子音/k, q/が脱落した形式に対応する。例については3.1.9を参照。ほかにも、末子音字 d の対応形式/t/が脱落する例が散見される。この場合でも、母音の質は表4に示したものと変化がない。たとえば以下のものである。

wo jik 「チベット文字」 (<i>bod yig</i>)	^s ka tɕ ^h a 「会話」 (<i>skad cha</i>)
------------------------------------	--

3.2.3 蔵文後接字が鼻音字のとき

蔵文後接字が鼻音字 (m, n, ng) の場合の語末位置における基本的な対応関係は、以下のよう
に示すことができる。

表5：蔵文後接字が鼻音字の形式の音対応

V\C	m	n	ng
a	am	an	aŋ / æŋ / əŋ
i	əm	ən	eŋ / əŋ
u	um / əm	ən	oŋ
e	em	en	eŋ
o	om	on	oŋ

たとえば、以下のものである。

^h nam 「天」 (<i>gnam</i>)	^u jon 「左」 (<i>g.yon</i>)
t ^h əm 「浸す」 (<i>thim</i>)	ϕsəŋ 「草地」 (<i>spang</i>)
^h sum 「三」 (<i>gsum</i>)	t ^h æŋ 「平原」 (<i>thang</i>)
rəm 「孵化する」 (<i>rum</i>)	ra k ^h əŋ 「牛小屋」 (<i>ra khang</i>)
ⁿ ts ^h em 「縫う」 (<i>'tshem</i>)	ŋeŋ 「心臓」 (<i>snying</i>)
tom 「熊」 (<i>dom</i>)	na nəŋ 「去年」 (<i>na ning</i>)
^s kan 「口蓋」 (<i>rkan</i>)	ŋoŋ ŋoŋ 「少ない」 (<i>nyung nyung</i>)
ʔtəŋ 「小便」 (<i>gcin</i>)	^m t ^h eŋ 「数珠の玉」 (<i>phreng</i>)
^b dən 「7」 (<i>bdun</i>)	^s toŋ 「千」 (<i>stong</i>)
ti tɕ ^h en 「祭り」 (<i>dus chen</i>)	

語中位置の場合、3.1.9 で述べた「先行音節末が ng/ngs で、かつ後続音節が pa/ba」という条件下で、表5の対応と比べて、母音の質は表5のまま末子音/ŋが脱落した形式に対応する。例については3.1.9を参照。

3.2.4 蔵文後接字がその他の子音字のとき

蔵文後接字がその他の子音字 (r, l, s) の場合の語末位置における基本的な対応関係は、以下のように示すことができる。

表6：蔵文後接字がその他の子音の形式の音対応

V\C	r	l	s
a	ar / ər	ɐ / əl / al	i
i	ər	i / əl	i
u	ər	i / əl	e
e	er	i / el	i / e
o	or	ol	u

たとえば、以下のものである。

tar 「氷」 (<i>dar</i>)	ʰcəl 「中間」 (<i>dkyil</i>)
ʰtɕər 「はさむ」 (<i>gcir</i>)	ʰŋi 「銀」 (<i>dngul</i>)
kər 「テント」 (<i>gur</i>)	tʰi 「騾馬」 (<i>drel</i>)
ʰser 「金 (きん)」 (<i>gser</i>)	ɕʰel 「ガラス」 (<i>shel</i>)
ʰsor 「錐」 (<i>gsor</i>)	ʰkol 「淹れる」 (<i>skol</i>)
wɛ 「羊毛」 (<i>bal</i>)	ᵐgo ʰŋi 「枕」 (<i>sngas</i>)
tʰel 「税」 (<i>khral</i>)	ᵐŋi 「二」 (<i>gnyis</i>)
ŋal 「発酵する」 (<i>snyal</i>)	ɣwi 「ユー地方」 (<i>dbus</i>)
tsʰi 「脂肪油」 (<i>tshil</i>)	tɕʰu 「経文」 (<i>chos</i>)

語中位置の場合、3.1.9 で述べた「先行音節末が r で、かつ後続音節が p/b」という条件下で、表 6 の対応と比べて、母音の質は表 6 のまま末子音/rが脱落した形式に対応する。例については 3.1.9 を参照。

3.3 音節全体に関わる特徴

2 音節が縮約し 1 音節語になっている例が複数認められる。そのほとんどの例において、縮約後の音節の母音が /e/ もしくは /ɔ/ で現れている。たとえば以下のようなものである。

/e/をもつもの

qʰe 「雪」 (<i>kha ba</i>)	ᵀdzɛ 「蚤」 (<i>lji ba</i>)
ᵀne 「耳」 (<i>rna ba</i>)	ʰtse 「根」 (<i>rtsa ba</i>)
ʰtɕɛ 「湿った牛糞」 (<i>lci ba</i>)	ke 「柱」 (<i>ka ba</i>)
ɕʰe 「鹿」 (<i>shwa ba</i>)	tɕ 「網」 (<i>dra ba</i>)
ᵐle 「キバノロ」 (<i>gla ba</i>)	ᵀde 「月 (年月)」 (<i>zla ba</i>)

/ɔ/をもつもの

ᵀdzɔ 「月 (天体)」 (<i>zla ba</i>)	ᵀgo 「黄羊」 (<i>dgo ba</i>)
tɔ 「煙」 (<i>du ba</i>)	tʰɔ 「金槌」 (<i>tho ba</i>)
hɔ 「腹」 (<i>pho ba</i>)	jo 「取っ手」 (<i>yu ba</i>)

以上の例において、/e/は表 3 を参考すれば分かるように、対応する蔵文の第 1 音節の形式に由来すると考えることはできない。よって、第 2 音節との縮約によって /e/ が現れると解釈することになる。加えて、/ɔ/ は以上のような音節の縮約によって生じている以外に蔵文との対応関係をもたない。そのため、表 2 を見ると明らかなように、末子音を伴う対応関係が認められないといえる。

また、初頭子音が単独の有気音字で蔵文末子音字が ng の例のいくつかは、gSerkha 方言において前鼻音が現れることがある。通常末子音字 ng の対応音/ŋ/も残るが、いくつかの例では脱落することもある。

^mt^hej wa 「数珠」 (*phreng ba*)

^ɰk^həŋa 「家」 (*khang ba*)

^rgon ^ɰk^hæŋ 「護法神殿」 (*mgon khang*)

la ^ɰk^hæ 「仏間」 (*lha khang*)

以上に挙げた例のうち、「家」「仏間」の例で完全に音節末鼻音が脱落する。ただし、/æŋ/、/aŋ/と記述される語は、その初頭子音が何であれ、音声学的な自由変異として音節末鼻音が先行母音を鼻母音化して脱落したり、何の影響も与えず脱落したりする事例が確認される。

この現象に類似するものに、^sh^oŋ mæ 「櫛」 (*so mang*) も含まれるだろう。この例では、蔵文第2音節の末子音が口語形式では脱落し、その代わりに第1音節末に鼻音が現れる形となっている。

4 まとめ

本稿では、カム地域で話されるアムドチベット語 gSerkha 方言について、その音形式を蔵文と対照することを通じて、同方言の音対応の特徴を明らかにした。

蔵文との対を通じて、共時的音体系のそれぞれの要素と蔵文との基本的な対応関係が明らかになった。蔵文の初頭子音連続、Kr の組み合わせ、および複数の母音字+末子音字の対応関係では、同一のつづりに対して複数の音対応が認められることが分かった。また、比較的規則的な音節の縮約が認められ、2音節語の音節間の分節音が互いに作用している事例なども存在することが判明した。

付記

gSerkha 方言の調査に当たっては昆明市の瑪吉阿米・香格里拉藏族風情宮の関係各位の協力を得た。ここに記して感謝の意を表す。

筆者による現地調査の一部については、2013-2016 年度日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B) 「言語多様性の記述を通して見る中国雲南省チベット語の方言形成の研究」 (研究代表者：鈴木博之、課題番号 25770167)、2016-2019 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (A) 「チベット・ビルマ語族の繋聯言語の記述とその古態析出に関する国際共同調査研究」 (研究代表者：長野泰彦、課題番号 16H02722)、2017-2020 年度日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (A) 「チベット文化圏東部の未記述言語の解明と地理言語学的研究」 (研究代表者：鈴木博之、課題番号 17H04774) および 2018-2020 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B) 「高精細度広域地図による中国および隣接する多言語地域の地理言語学的研究」 (研究代表者：遠藤光暁、課題番号 18H00670) の援助を受けている。

参考文献

- 鈴木博之 (2005) 「チベット語音節構造の研究」『アジア・アフリカ言語文化研究』第 69 号 1-23
URI: <http://hdl.handle.net/10108/20212>
- 鈴木博之 (2007a) 「カムチベット語康定・新都橋 [Rangakha] 方言の音声分析」『アジア・アフリカの言語と言語学』第 2 号 131-162 URI: <http://hdl.handle.net/10108/51094>
- 鈴木博之 (2007b) 「チベット語包座 [Babzo] 方言の音声分析とその方言特徴」『アジア・アフリカ言語文化研究』第 74 号 101-120 URI: <http://hdl.handle.net/10108/42695>
- 鈴木博之 (2010) 「ヒャルチベット語松潘・大寨 [Astong] 方言の音声分析」『アジア・アフリカの言語と言語学』第 5 号 117-155 URI: <http://hdl.handle.net/10108/64040>
- 鈴木博之 (2013) 「カムチベット語塔城・格登 [sKobsteng] 方言の音声分析」『アジア・アフリカの言語と言語学』第 8 号 123-161 URI: <http://hdl.handle.net/10108/75672>
- 鈴木博之 (2014) 〈尼汝藏語的小舌輔音與其藏文對應規律〉《東方語言學》第 14 輯 1-12
- 鈴木博之 (2015) 「カム地域のアムドチベット語・道孚県色卡 [gSerkha] 方言の音声記述」『京都大学言語学研究』第 34 号 89-107 doi: <https://doi.org/10.14989/218951>
- 鈴木博之 (2018) 「香格里拉市北部のカムチベット語諸方言の方言特徴とその形成」『アジア・アフリカ言語文化研究』第 95 号 5-63 doi: <https://doi.org/10.15026/92458>
- 鈴木博之、イエシエムツォ (2006) 「アムドチベット語中阿壩 [rNgawa] 方言の音声分析」『アジア・アフリカの言語と言語学』第 1 号 59-88 URI: <http://hdl.handle.net/10108/51084>
- 鈴木博之、四郎翁姆 [bSod-nams dBang-mo] (2021) 「カムチベット語塔公 [Lhagang] 方言における口蓋垂音」『言語記述論集』 13, 1-12
- 西義郎 (1986) 「現代チベット語方言の分類」『国立民族学博物館研究報告』 11 巻 4 号 837-900 + 1 地図 doi: <https://doi.org/10.15021/00004359>
- 西田龍雄 (1987) 「チベット語の変遷と文字」長野泰彦・立川武蔵編『チベットの言語と文化』 108-169 冬樹社
- Cham-tshang Padma Lhun-grub (2009) *A-mdo'i yul-skad-kyi sgra-gdangs-la dpyad-pa*. 青海民族出版社
- Häsler, Katrin Louise (1999) *A grammar of the Tibetan Dege (Sde dge) dialect*. Selbstverlag.
- Matisoff, James A. (2015) *The Sino-Tibetan etymological dictionary and thesaurus*. The Regents of the University of California. Online: <https://stedt.berkeley.edu/dissemination/STEDT.pdf>
- de Nebesky-Wojkowitz, René (1956) *Oracles and demons of Tibet: The cult and iconography of the Tibetan protective deities*. 's-Gravenhage: Mouton.
- Suzuki, Hiroyuki (2009) Origin of non-Tibetan words in Tibetan dialects of the Ethnic Corridor in West Sichuan. In Yasuhiko Nagano (ed.) *Issues in Tibeto-Burman Historical Linguistics*, 71-96, National Museum of Ethnology. doi: <https://doi.org/10.15021/00002558>

- Suzuki, Hiroyuki (2016) In defense of prepalatal non-fricative sounds and symbols: towards the Tibetan dialectology. *Researches in Asian Languages* 10, 99-125. URI: <http://id.nii.ac.jp/1085/00002195/>
- Suzuki, Hiroyuki & Sonam Wangmo (2019) Migration history of Amdo-speaking pastoralists in Lhagang, Khams Minyag, based on narratives and linguistic evidence. In Bianca Horlemann, Ute Wallenböck, & Jarmila Ptáčková (eds.) *Mapping Amdo: Dynamics of power*, 203-222.
- Suzuki, Hiroyuki, Tsering Samdrup, Niangwujia (Nyingbo-Gyal), Jixiancairang (Chaksham Tsering), and Sonam Wangmo (2019) /fj/ in Amdo Tibetan: Descriptive and historical approaches. *Journal of the Phonetics Society of Japan* 23, 76-82. doi: https://doi.org/10.24467/onseikenkyu.23.0_76
- Tournadre, Nicolas (2014) The Tibetic languages and their classification. In Thomas Owen-Smith & Nathan W. Hill (eds.) *Trans-Himalayan Linguistics: Historical and Descriptive Linguistics of the Himalayan Area*, 105-129. Walter de Gruyter.
- Tournadre, Nicolas & Hiroyuki Suzuki (2021) *The Tibetic languages: An Introduction to the family of languages derived from Old Tibetan*. (with the collaboration of Xavier Becker and Alain Brucelles for the cartography). Les Lacito Publications.
- Tsering Samdrup & Hiroyuki Suzuki (2017) Migration history and *tsowa* divisions as a supplemental approach to dialectology in Amdo Tibetan: A case study on Mangra County. *Studies in Asian Geolinguistics VII —Tone and Accent—*, 57-65. URI: https://publication.aa-ken.jp/sag7_tone_2017.pdf
- 華侃 主編 (2002) 《藏語安多方言詞匯》甘肅民族出版社
- 黃布凡 (2012) 〈藏緬語的小舌音〉《語言學論叢》第四十五輯 157-174
- 江荻 (2002) 《藏語語音史研究》民族出版社
- 格桑居冕 [sKal-bzang 'Gyur-med]、格桑央京 [sKal-bzang dByangs-can] (2004) 《實用藏文文法教程 [修訂本]》四川民族出版社
- 瞿靄堂、金效靜 (1981) 〈藏語方言的研究方法〉《西南民族學院學報》第 3 期 76-84
- 仁增旺姆 [Rig-'dzin dBang-mo] (2013) 《迭部藏語研究》中央民族大學出版社
- 孫宏開、王賢海 (1987) 〈阿壩藏語語音中的幾個問題〉《民族語文》第 2 期 12-21
- 王雙成 (2012) 《藏語安多方言語音研究》中西書局
- 張濟川 (1993) 〈藏語方言分類管見〉戴慶廈等編《民族語文論文集—慶祝馬學良先生八十壽辰文集》297-309 中央民族學院出版社
- 張濟川 (2009) 《藏語詞族研究—古代藏族如何豐富發展他們的詞匯》社會科學文獻出版社
- 朱曉農 (2010) 《語音學》商務印書館

付録：gSerkha 方言の語彙リスト

配列は華侃 主編 (2002) に準拠し¹³、名詞 (天文地理、人体、人物、家畜、その他の動物、植物、食物、衣料装飾、住居、生活用具、その他道具、文化教育、抽象物、位置方角、時間)、数詞、代名詞、形容詞、動詞¹⁴ の順である。

天文地理

天	^h nam	山	rə
太陽	ŋə ma	尾根	rə ^ŋ go
光	yot	谷	lo ŋa
月	^h dzɔ	がけ	kat k ^h a
星	^h kar ma	岩石	p ^t əq
流星	^h kar ^m da	洞窟	p ^t ə yə / p ^t əq p ^h uk
天気	^h nam ^m da	洞穴	toŋ
雲	ɸsən	川	tɕ ^h ə
雷	m ^ɔ duk	湖	m ^{ts} h ^o
風	v ^l oŋ	海	^h ja m ^{ts} h ^o
雨	^h nam / tɕ ^h ar wa	渡し場	tɕ ^h ə k ^h a
虹	ⁿ dza	貯水池	tɕ ^h ə ^m dzot
雪	q ^h e	井戸	tɕ ^h ə zom
雹	s ^h e ra	杭	təŋ ^h kop
霜	wa mo	土手	tɕ ^h ə ^h kər
露	zi tɕ ^h ə	道	lam
霧	m ^u ywa	平原	t ^h æŋ
氷	tar	沼	nɔ k ^h a
火	m ^ŋ e	土	s ^h a
煙	tɔ	畑	zəŋ
電気	v ^l oq	水田	tɕ ^h ə zəŋ
空気	v ^l oŋ / ^h luk / y ^o v ^l oŋ	乾燥地	rə zəŋ
蒸気	^h laŋ ɸsa	農区	roŋ wa
水害	tɕ ^h ə loq	牧区	m ^ɔ qo xwa
世界	ⁿ dzam ^h leŋ	半農半牧	m ^ɔ qo x ma roŋ
地	s ^h a	石	r ^ɔ do

¹³ ただし一部個別例について補足したものも含む。

¹⁴ gSerkha 方言には、動詞の語幹交替が認められる。ただし、本稿では原則的に未完了の形式を採用する。語幹交替の記述は別稿にゆずる。

砂	ɸci ma	炭	s ^h o wa
埃	s ^h a / t ^h ɔ wa	磁石	^h i do q ^h a len
泥	ⁿ dam ^ɲ joq	草木灰	^h i do t ^h e
水	tɕ ^h ə	朱砂	^m ts ^h e
波	^h i ba ^r lap	場所	s ^h a tɕ ^h a
泉	tɕ ^h ə ^m ɲək	長江	^m də tɕ ^h ə
温泉	ts ^h a tɕ ^h ə	黄河	^h i ma tɕ ^h ə
森	nəq ts ^h al	ラサ	la s ^h a
草地	ɸsaj	ユー	ywi
鉱石	^h ter ^r do	ツアン	^h tsæŋ
金	ɣser	カム	k ^h am ba
銀	s ^h ji	アムド	?a ^m do
銅	zæŋ	ポタラ宮	po ta la
鉄	^h tɕæq	クンブム	s ^h ke ^m bəm
ダイヤ	^h tɕe ^r do	ラプラン	^h la ^p tæŋ
鉛	za ɲi	西寧	zə leŋ
さび	^h tsa wo	町	^m k ^h war
アルミ	ha jəŋ	通り	tɔŋ wa
瑪瑙	ɣzə	村	^h i de wa / tɔŋ ts ^h o
黄銅	ræq	橋	zam ba
銅	tɕ ^h o	家	tɕ ^h əm ts ^h æŋ
煤	^h i do s ^h e	故郷	p ^h a jəl

人体

体	li p ^h oŋ	顔	k ^h a ɲo
頭	^m go	ほほ	^ɲ dzam ba
髪	^h tɕa	口	k ^h a
お下げ	^h tɕa lo	唇	k ^h a ^m tɕ ^h ə
額	t ^h o pa	あごひげ	k ^h a ɸsə
眉毛	^r dzə ma	あご	ma ne
睫毛	^m ɲik ɸsə	首	s ^h ke
目	^m ɲik	肩	p ^t ɕ ^h a qa
鼻	s ^h na	背	^h dzap
鼻の穴	s ^h na k ^h oŋ	脇	^m tɕ ^h an joq
耳	^h i ne	胸	p ^t æŋ

乳房	nə ma	脈	ᵑtsa
乳	yo ma	腦	ᶿla pa
腹	hɔ	骨	rə p ^h a
へそ	h ^h tje	脊椎	ᶿgɐ ⁿ dzæŋ
腰	ᵑke pa	肋骨	ᵑtsəm ma
尻	ɸoŋ ^ɰ go	関節	ts ^h ək
太もも	^w la	骨髓	ᵑkæŋ
ひざ	wor mo	齒	s ^h o
下腿	ŋa ji	犬齒	c ^h ə s ^h o
足	ᵑkə ŋa	齒莖	ᵑŋi
くるぶし	ᵑkæŋ s ^h ək	舌	ᵑtɕe
腕	la qa / ^h pɔŋ	口蓋	ᵑkan
手	la qa	喉	^m ŋi pa
腕	laq ^h ke	喉仏	ʔo ^m dət
指	^m dzə ɣə	肺	ᶿlwa
手のひら	laq ^ɸ ci	心臟	ŋeŋ
親指	^m t ^h e mo	肝臟	^m tɕ ^h ən ba
小指	^m dzək tɕ ^h oŋ	脾臟	^m ts ^h er wa
爪	s ^h en mo	腎臟	^m k ^h wɛ ma
指紋	^m ts ^h o	胆嚢	^m tɕ ^h ə ^r ɸa
拳	k ^h ə ts ^h ər	胃	hɔ
肛門	^h cæq ɣoŋ	腸	ᶿdzə ma
男性器	^m dze	大腸	ᶿdzə ^h kar
睾丸	xək ^h do	小腸	ᶿdzə nəq
女性器	ŋa ma	恥骨	^h ke pa
胎盤	wə roq	膀胱	^r gaŋ wa
皮膚	wa ɣa	大便	^h cæ ɣa
しわ	ᵑŋer ma	小便	ɣtɕən
あざ	mɛ	屁	ɸɕik rə
傷	ᶿma	汗	ᶿŋi tɕ ^h ə
傷口	ᶿma k ^h a	痰	lə p ^h a
しみ	ᶿma ^r dzə	つば	k ^h a tɕ ^h ə
白癬	ᵑŋo	鼻水	ᵑŋa tɕ ^h ə
肌	ɕ ^h a ^r nəq	涙	^m ŋik tɕ ^h ə
血	tɕ ^h æq	膿	ᵑŋaq
筋肉	ᶿdzə ^h ke	垢	tɕə maq

声 ^skat
死体 ro
命 ^ʃoq

寿命 ts^he

人物

人 ^mnə
人民 ^mnə məŋ
平民 mə s^her
チベット人 wo rək
漢族 ^hdza rək
蒙古族 s^hoq po
半漢半蔵 ^hdza ma wot
外国人 ^ɸç^hə ʀjal
子供 za zi
赤ん坊 çi ba
老人 ^hge ʀgi
老婦人 ^hga mo ^hge ʀgi
男 zə lə
女 zə mo
男女 ho mo
少年 ho ^hsar
少女 mo ^hsar
公務員 li ^ɸçit pa
商人 ⁿts^hoŋ wa
医者 man ba
農民 zeŋ wa
軍人 ^hmaq
牧民 ^mdo ɣa
牧人 ʀdzə ɣə
大工 ç^heŋ βzo
鍛冶屋 ^mgwa ra
船大工 tçə wa
狩人 ^smon ba
料理人 tçə ma
英雄 ɣwa wo

女英雄 ɣwa mo
独身 ^mnə ʀcæŋ
学者 jik ⁿdon ba
翻訳家 lo tsa wa
代表 ^skə ⁿts^həp
こじき ^skən ma
泥棒 ^skun ma
強盗 tçæ ɣa
病人 ne p^ha
仇 ^hdza wo
王 ^hdza lu
皇帝 ji ^htçə ^hdza lu
官 ɣon bo
首領 ⁿgo wa
友人 ro ɣwa
お供 ⁿjo roq
教師 ʀge ʀgen
仕立て屋 βzo wa
靴屋 ɣe βzo
石屋 ʀdo βzo
肉屋 ^ɸçan ba
俗人 mə ^sca
四肢障害者 ^hdza çuk / ^skæŋ ^hdza
盲人 za ra
聾啞者 ɣo na
禿げの人 ^hla ʀgəq
猫背の人 ^hgur loq
ばか者 ^hlen ba
口唇裂 k^ha ^ɸç^ho
狂人 ^mn̩on ba

どもる人	k ^h a dək kə	父の兄の妻	?a ne
口の利けない人	^h ku xa	父の弟	?a k ^h ə
主人	^f i do ɣo	父の弟の妻	?a ne
客	ⁿ di wa	甥	ts ^h a wo
知り合い	ŋo ɕ ^h i nə	兄弟	ʔ _ɕ en di
知らない人	ŋo mə ɕ ^h i nə	姉妹	wo mo ^β ren di
下男	^f i jo ɣo	母の兄弟	?a zæŋ
下女	^f i joq mo	母の兄弟の妻	?a ne
祖先	p ^h a mi	母の姉妹	?a ne
祖父	?a m ⁿ ɛ	父の姉妹の夫	?a k ^h ə
祖母	?a ji	父の姉妹	?a ne
父	?a p ^h a	義理の父	?a zæŋ
母	?a ma	義理の母	?a ne
両親	ha ma	家族	tɕ ^h em ^β dəq
息子	zə lə	親戚	^f i _n en nɛ / nɛ wa
息子の嫁	m ⁿ a ma	夫	^f i ga xu
娘	zə mo	妻	^f i ga mo
娘婿	ma ɣa	継母	ma ^β jar
孫息子	ts ^h a wo	継父	ha ^β jar
孫娘	ts ^h a mo	未亡人	juk sa ma
兄	?a ^r ja	子なしの女性	rap tɕ ^h at
姉	?a tɕe	双子	m ⁿ ts ^h i to
弟	ɕ ^h a ni	私生児	^f i da lə
妹	ɕæŋ mo	孤児	ta p ^t ʰuk
父の兄	?a k ^h ə		

家畜

家畜	^f i jə zoq	めすゾ	m ⁿ dzo mo
牛	zoq	子牛	wi
黄牛	^β lo ŋə	おす牛	^β jæq
水牛	tɕ ^h ə ^β læŋ	めす牛	m ⁿ də
ヤク	^β jæq	乳牛	^β zon ma
めすヤク	m ⁿ də	荷駄獣	k ^h al ma
子なしのめすヤク	ɕ ⁿ kam ma	湿牛糞	^h tɕe
ゾ	m ⁿ dzo	角	ra

ひづめ	s ^h uk k ^h i	ぶた	haq
皮	wɛ ɣa	めすぶた	haq ma
毛	ɸ _{sə}	おすぶた	p ^h ɛq
毛の色	ɸ _{sə} mdoq	子ぶた	haq p ^t huk
尾	s ^h ja ma	ぶた糞	haq h ^{cə} q
馬	s ^h ta	犬	c ^h ə
子馬	s ^h ti tse	めす犬	c ^h ə mo
荷馬	t ^h o rə	獵犬	ɕ ^h a c ^h ə
おす馬	s ^h ta p ^h o	犬糞	c ^h ə s ^{cə} q
めす馬	s ^h ta mo / r ^h gon ma	猫	li li
鬣	ze wa	うさぎ	rə ɣoŋ
馬糞	h ^h ti lə	鶏	ɸ _{ca}
羊	ra luk	おんどり	ɸ _{ca} p ^h o
綿羊	luk	めんどり	ɸ _{ca} mo
めす綿羊	ma mo	ひよこ	ɸ _{ca} p ^t huk
山羊	ra	とさか	t ^h o h ^{cə} q
子山羊	ra p ^t huk	翼	x ^{cə} o ɣa
子綿羊	luk p ^t huk	羽	h ^h do
羊毛	wɛ	鶏糞	ɸ _{ca} s ^{cə} q
羊糞	ri ma	鴨	ŋæ wa
騾馬	t ^h i	がちょう	ŋɛŋ pa
ロバ	kə rə / woŋ wə	鳩	p ^h u ron
らくだ	s ^h ja mo		

その他の動物

野獸	rə daq	熊/パンダ	tom
猛獸	ɣtɕæn h ^h zæn	ヒグマ	tɕet moŋ
虎	s ^h taq	いのしし	haq h ^h got
獅子	s ^h ə h ^h ge	鹿	ɕ ^h e
龍	m ^h duk	黄羊	r ^h go
爪	w ^h rar mo	キバノロ	ɸ ^h le
猿	ɸ _{si}	麝香	ɸ ^h le s ^h tsə
象	h ^h læŋ tɕ ^h en	野ロバ	s ^{cə} ŋ
野牛	m ^h doŋ	かわうそ	ɕam
豹	h ^h zik	ヤマアラシ	haq h ^h got

ハリネズミ	ʳgæŋ	鸚鵡	ne tso
ねずみ	tsə ɣə	カッコウ	kʰu juk
土ねずみ	fiə pʰa	孔雀	fiə ma ɸca
ねずみ糞	ɸci hʰtuk	亀	ru wʳəl
リス	nɛq ɸci	蛇	wʳi
ジャッカル	mʳpʰa ra	蛙	wʳɛ wa / wʳɛ wʳɛ
狼	ɸcəŋ kʰə	トカゲ	tɛim fiə go ʳdoq
狐	ɣa	魚	ŋa
山猫	ɸcə	虫	mʳbə
鳥	ɸca	蚤	fiə dzɛ
鳥の巣	ɸca tsʰæŋ	しらみ	ɸʰik
鳥糞	ɸca sʳcəq	アブ	hʳcæq mʳbə
鷹	ʳgot	蚊	tuk bʳdɛ
とんび	tɸʰa / cʰa	蜘蛛	fiə də ka ra
はやぶさ	ɳlæq	蜘蛛の糸	fiə də ka ra tsʰæ
ハゲタカ	ɸca ʳgot	ムカデ	sʳkæŋ ʳja laq ʳja
ふくろう	ɣu xa	ミミズ	mʳbə rə naq
ツバメ	kʰa la juk	アリ	tɛoq ma
野生の雁	ŋæŋ ba	アリ塚	tɛoq tsʰæŋ
すずめ	ɸci ɣə / ɸci tsʰe	ミツバチ	fiə wæŋ ma
こうもり	ɸca ma ɸci	とんぼ	mʳbə wʳla ma
カササギ	sʳci ka tɸʰa mo	蝶	ɸcʰe ma lep tse
からす	qʰɛ ta	さそり	wə fiə də ɣa ra tsa
めじろ	rə ɸca		

植物

木	ɸʰeŋ / fiə doŋ wo	柳	tʰə ɣə
枝	ɸʰeŋ lo	柏	ɸʰu ɣa
苗	ɸʰeŋ pʰtʰuk	松	fiə doŋ ɸʰeŋ
幹	fiə doŋ wo	松脂	tʰæŋ tɸʰə
根	sʳtse	ポプラ	tʰa ɸʰeŋ
葉	lo ma	ぶな	sʳtaq ma
花	me toq	茶の木	tɸa ʳdoŋ
芯	næŋ ʳŋeŋ	梅檀	tsan dan
芽	mʳŋə ɣə	竹	mʳŋuk ma

とげ	ts ^h er ma	麦の殻	tʃa ma
果物	ɕ ^h ej toq	とうもろこし	ma ^r mo lo toq
桃	k ^h am wə	綿	ʃsəl wə
梨	lə	大麻	s ^h a ma ra tsa
みかん	ts ^h a lə ma	野菜	ɕ ^h jo ts ^h əl / ts ^h ot ma
柿	ɕ ^h ej toq ʔa ma	大根	la puk
ぶどう	r ^g ən m ^q um	唐辛子	ɣe tsa
はすの花	pal ma	たまねぎ	tsoŋ
冬虫夏草	m ^b ə / ^{fi} jar ɕtsa ^{fi} gən m ^b ə	にんにく	^{fi} go ɣa / ^{fi} gor loq
サフラン	kər kum	しょうが	ɕtɕa ^r ga
サトウキビ	m ⁿ uk ^{fi} dæŋ	ジャガイモ	jəŋ
胡桃	^h tar ga	豆	ʃen ma
タマリスク	ʃ ^ɕ en ma	大豆	ʃen s ^h er
穀物	lo toq	蚕豆	^{fi} ja ʃen
食料	m ^q ə rək	えんどう	ʃen ma
米	m ^q i	落花生	wa tam
種	s ^h a wun / s ^h en	ゴマ	tik m ^q ə
稲	m ^q i s ^h oq / s ^h oq ma	草	ɕtsa
玄米	m ^q ə ^{fi} doq	きのこ	ɕ ^h a mo / ɕ ^h o mæŋ
小麦	co	人参果	co ma
大麦	s ^h o wa	ひまわり	nə ma me toq
カラスムギ	ju xo	からし菜	ɕke ts ^h e
青稞 (裸麦の一種)	ni	米	m ^q i
麦 (植物)	co s ^h oq		

食物

ごはん	za za	夕食	nup tɕ ^h ə
粥	m ^q i t ^h uk / m ^q i s ^h a	ミルクティー	yo tɕa
小麦粉	co wə wo ^r dzin	肉	ɕ ^h a
パン	ko re	赤身	ɕ ^h a ^r nəq
蒸しパン	ɕ ^h a moq	油	ɕ ^h um
餃子	t ^h en ɕ ^h ə	植物油	ɕ ^h um
乾物	ɕkam za ji jə	脂肪油	ts ^h i
朝食	næŋ tɕ ^h ə	バター	mar
昼食	tʃu dza	ヨーグルト	zo

チーズ	tɕ ^h ə ra	スープ	q ^h wɛ
初乳	ɸ ^h tə	酒	tɕ ^h æŋ
牛乳の膜	ɸ ^h tər ma	湯	tɕ ^h ə k ^h o
チーズケーキ	t ^h ət	茶	tɕa
ツアンパ	ɕ ^h tsam ba	タバコ	tə
牛肉	zoq ɕ ^h a	薬	ɕ ^h man
ソーセージ	ce ɾjə	麩	tɕo ɕ ^h paq
塩	ts ^h a	ふたの餌	haq ze
砂糖	w ^h dæŋ	馬の餌	ɕ ^h ta tɕ ^h əq
氷砂糖	ɕ ^h el ka ra	鼻タバコ	ɕ ^h na tə
酢	ɕ ^h cər k ^h ə	酒かす	tɕ ^h æŋ k ^h en
花椒	ɾ ^h jer ma	豆粉麵	t ^h ər / t ^h æŋ
卵	ɸ ^h ca ɾgoŋ / ^h go ŋa		

衣料装飾

糸	ɕ ^h kə p ^h a	靴	ɣam
布	ri	ブーツ	ɾdzə ɕ ^h ta
絹	tər ɕ ^h kət	シャツ	ts ^h əl len
サテン	ko zi	起毛ジャケット	p ^h əl s ^h at
プル	ɸ ^h ɕə p ^h t ^h uk	ハンカチ	laq ɸ ^h ɕ ^h ət
コート	ri la	櫛	s ^h oŋ mæ
袈裟	^h zan	カーテン	jo la
毛織物	^h go ɾna	装身具	^h dze tɕ ^h a
衣服	ko zi	宝石	no rə
チュバ	wot ku	珊瑚	ɸ ^h ɕe rə
襟	koŋ wa	ジャスパー	ɕjə
袖	p ^h ə roŋ	真珠	mə tik
ボタン	^h jo xo	象牙	wa s ^h o
ズボン	tor ma	琥珀	ɸ ^h ɕu ɕ ^h i
スカート	ɕ ^h ma ɕ ^h əm	イヤリング	ɾna loŋ
スカーフ	mgo ɕ ^h ci	ネックレス	^h ke b ^h jər
帽子	za	指輪	m ^h dzu ɕ ^h ci
ベルト	ɕ ^h ke rəq	ブレスレット	laq ɕ ^h ci
靴下	ɕ ^h kæŋ bə		

住居

枕	m ^g o ^s ŋi	瓦	wa
布団	ʂtsa ^h dan	壁	tɕæŋ
座布団	^h dan	丸太	ɕ ^h ej
家	ŋ ^h k ^h əŋa	板	ɕ ^h ej lep
屋根	ŋ ^h k ^h æŋ t ^h oq	柱	kə
宿屋	m ^d on ŋ ^h k ^h æŋ	門	r ^g o
軒	ra p ^t ʂ ^h i	門	r ^g o q ^h a
土台	h ^t sək ^h dan	玄関	r ^g o tɕ ^h en
キッチン	tɕa ŋ ^h k ^h æŋ	窓	ʂqa ʂqoŋ
階層建築	t ^h oq ŋ ^h k ^h æŋ	階段	ʂki
階上	ŋ ^h k ^h æŋ t ^h oq	梁	^h doŋ ma / ^h doŋ ʂta
階下	ɕ ^h o joq	たる木	h ^t ɕam
倉庫	m ^d zot ŋ ^h k ^h æŋ	ステップ	r ^d o ʂki
牛小屋	ra k ^h əŋ / zoŋ ŋ ^h k ^h æŋ / zoq ra	テント	kər
ぶた小屋	haq ts ^h æŋ	牛毛テント	^w ra
馬小屋	ʂta rə	竹垣	^h go ra
羊小屋	luk rə	庭	^h dum ra
鳥小屋	ɕɕa ts ^h æŋ	トイレ	tɕ ^h ap ŋ ^h k ^h æŋ
レンガ	s ^h a r ^g paq		

生活用具

もの	ʂŋe wo / ʂŋo po	箒	ɕ ^h æq ma
テーブル	tɕoq tse	明かり	^h loq
いす	ʂkəp cæq / ʂkəp tæq	薪	m ^b ət ɕ ^h ej
ベッド	ŋe t ^h ə	炭	s ^h o
箱	r ^g am	火打石	m ^h e r ^d o
キャビネット	r ^g am ^h dzom	ほくち	p ^t a wa
入れ物	r ^g am tɕ ^h oŋ	石灰	^h do zo
石鹸	taq ɕɕet	火箸	me ʂtɕi
芳香石鹸	tə zim taq ^h dzi	マッチ	m ^b ar zin
ガラス	ɕ ^h el	松明	ɕpe m ^b ar
鏡	ŋo ʂta / ɕ ^h el ^h go	線香	ɕsu

染料	ts ^h u / ts ^h on	針	q ^h ap
かまど	t ^h ap ka	錐	^m buk
鉄なべ	zaŋ / t ^h o	釘	^h tɕæŋ ⁿ dzer / ⁿ dzer ma
フライパン	t ^h o ko	はさみ	tsə ⁿ dəp
蒸し器	^h i mæŋ ts ^h əq	はしご	^s ki
ふた	k ^h a lep	傘	ɕɕə ^β duk
ナイフ	cə	鎖	^r go ^s tɕæq
柄杓	^s coq	鍵	^r de ^m ɲik
スプーン	t ^h ər ma	車輪	ɲk ^h or lo
しゃもじ	^s coq	棒	^h ju ɣa
木製椀	tɕa ni	鞍	^s ta ^r ga
ボウル	^h ka ju	馬籠頭	^m t ^h ər
皿	^h i der ma	馬腹帯	^h lo
箸	za t ^h ər	馬嚼子	ɕap
瓶	tam bi	あぶみ	jop tɕ ^h en
ポット	^r dza ma	蹄鉄	^h ɲik ^s tɕəq
甕	^r dza ma	馬槽	p ^h i
壺	tam bi	しりがい	^s ɲit
茶漉し	tɕa ts ^h əq	たづな	ɕam ^m da
魔法瓶	ts ^h a tam	鞭	^s ta ^s tɕəq
水がめ	tɕ ^h ə ^r ɲot	駄架	^h jam ^ɲ gəl ^β zɪt
バケツ	tɕ ^h ə zom	くびき	^h ɲa ɕ ^h eŋ
木製盆	^h i zoŋ wa	牛の鼻輪	ɲa ^ɰ tɕə
臼	^h i goq ^h tən	指貫	^s tɕim mo
杵	^r do re	ピンセット	^ɲ dzaq tse
ひも	zo ^s ci	糊	^s co ma
三脚	^s kæŋ ^h sum	めがね	^m ɲik ra
吊りベルト	^h i ja loŋ	印鑑	t ^h el tse
秤	^r ja ma	牛皮繩	^m dɕe ŋa
お金	t ^h ə / ^h i gor mo	船	tə
資金	ma ^s tsa	電車	me ɲk ^h or
利息	^s cet ka	飛行機	^h nam ɕɕa
商品	ts ^h oŋ ^r dzi	自転車	^s tɕəq ^s ta
定規	t ^h e ^s tse		

その他道具

道具	laq tɕ ^h a	碾き臼	tɕ ^h uk
斧	ɕ ^h ta re	織機	n ^h t ^h əq tɕ ^h ə
金槌	t ^h ɔ	包丁	ɕ ^h ta re
のみ	ɕ ^h ej tɕp	投石器	ɣor ^h do
鋸	s ^h eq le	ほら貝	toŋ s ^h kar
錐	ɣsor	矛	m ^h doŋ
やすり	s ^h oq ^h dar	的	m ^h ben
かな	m ^h bər len	鞞	cə ɕ ^h əp
墨斗	t ^h ək tɕ ^h i	銃	me ^h da
のり	ɕcən	弾	m ^h da
スコップ	ɕtɕəq k ^h em	弓	^h zə
鍬	t ^h oq ɣcəl / t ^h oŋ	矢	m ^h da
鉄の鍬	t ^h oŋ ɕtɕəq	わな	s ^h ŋə
備中鍬	ɕ ^h al	落とし穴	^h ŋə toŋ
鋤	s ^h ko ma	火薬	r ^h dzi / m ^h ne r ^h dzi
皮の袋	^h jo wa	毒	tuk
ガソリン	^h wæŋ s ^h ŋəm	網	tɕe
機械用油	m ^h t ^h əl nəm	磨き粉	laq ^h kor
かつぎ棒	p ^h t ^h əq ɕ ^h ej	機械	m ^h t ^h əl ŋ ^h kor
刃物の柄	jo	担保	ɣte ma
取っ手	jo	贈り物	laq ^h taq
くさび	n ^h dzer	ノート	tep
縄	n ^h ta ɣa	キルト	n ^h e t ^h əl
肥料	lət	マットレス	n ^h e ^h dan
鎌	zo ra	賞品	r ^h ga s ^h taq / ɕca r ^h ga
水槽	wa k ^h a		
ふるい	s ^h əq ma		

文化教育

文字	ji ke	絵	rə mo
手紙	m ^h p ^h ən jik / ji ke	本	ɣwi tɕ ^h a
字母	^h səl ɕcət / ka k ^h a	紙	ɕ ^h oq qə

ペン	^m ŋə kə	信仰	tat pa
インク	ʂnaq ts ^h a	神仏	la
学校	^h loɸ ʈa	女神	la mo
学問	jon dan	鬼	ⁿ ɖe
話	ʂka tɕ ^h a	女鬼	ⁿ ɖe mo
チベット語	wot ^h kat	悪魔	^b dət
チベット文語	wo jik	竜神	^ʂ lə
名前	^m ŋeŋ	仏陀	ʂ ^h æŋ ʀji
姓	ri ^m ŋeŋ	靈魂	ʀnam ɕ ^h i
記号	ʂtaq	魂	^w la
新聞	ts ^h əq ^h par	円寂	^x ɕeq
ニュース	^w da	天堂	la jəl
物語	^{fi} na ʎtam	来世	ts ^h e ɸtɕ ^h ə ma
伝記	^{fi} nam t ^h ar	輪廻	ɸk ^h or wa
ことわざ	ʎtam ɣwi	運	^{fi} loŋ ʂta
笑い話	k ^h a ^m ts ^h ar	縁	li ^{fi} jo
なぞなぞ	k ^h et	善行	ʀge wa
声	ʂkat	凶兆	ʂti ŋen
歌	ʂlə	ラマ	^w la ma
民謡	la ʂzi	活仏	ɸtəl ^h kə / ^w la ma
踊り	p ^h to	僧院長	^m k ^h wan bo
将棋	^m ɖuk	僧侶	ʈa wa
さいころ	ɕ ^h o	尼	tɕo mo / ʔa ne
太鼓	ʂŋa	ボン教	won bo
どら	^m k ^h war ŋa	管家	^x ŋer wa
シンバル	tɕ ^h e ^w raŋ	還俗僧	ʂka loq
ベル	ʂŋa	施主	βzən ^b dəq
竹笛	^{fi} dza ʂlaŋ	茶の寄付	mæŋ tɕa
笛	^{fi} laŋ wə	魔術師	ʔa ^m tɕ ^h ot
鈴	ʈə lə	占い師	mo wa
ラッパ	^{fi} za ʂlaŋ	地獄	ʂŋal wa
映画	^{fi} loq ^w ŋan	閻魔	^x ɕən ^{fi} dzi / tɕ ^h u ʀjal
タンカ	t ^h æŋ k ^h a	寺	ʀgon ba / la ɸk ^h æ
お面	^m baq	経堂	la ɸk ^h æ
宗教	tɕ ^h u luk	経院	ʈa ts ^h aŋ
宗派	ʈum ^m t ^h a	護法神殿	ʀgon ɸk ^h æŋ

静修室	m ^h ts ^h am ŋ ^h k ^h æŋ	カタ	k ^h a dəq
六字真言	ma ^h r ^h nə / ma ^h r ^h nə m ^h du tʃuk	護身符箱	ϕ ^h cen ^h n ^h dot / ka wə
燃灯祭	ʂŋa m ^h tɕ ^h ot	放生	ts ^h e t ^h ar
焼香	ϕ ^h sæŋ	生命樹	w ^h la ɕ ^h eŋ
宝の甕	wum ba	呪文	ʂŋæq
白塔	m ^h tɕ ^h o ʂten	お経	rə tɕ ^h u
火葬	me m ^h tɕ ^h ot	数珠	m ^h t ^h eŋ wa
天葬	ϕ ^h ca ^h tor	仏像彫刻家	la ^h βzo wa
施食	ʒtor ma	金剛	fi ^h do r ^h dze
曼陀羅	h ^h cil ŋ ^h k ^h or	天蓋	fi ^h jal m ^h ts ^h an
マニ石	tɕ ^h u r ^h tsik	マニ車	ma ^h r ^h nə ŋ ^h k ^h or lo
墓	tər s ^h a	布施	βzən ba
仏像	ʂkə ^h n ^h da		
バター灯	m ^h tɕ ^h or me		

抽象物

中国	tɔŋ go	吉祥	p ^h ta ɕ ^h i
地位	ko s ^h a	感謝	t ^h uk fi ^h dze tɕ ^h e / p ^h kwa dŋin tɕ ^h e
権力	fi ^h yæŋ	裂け目	sup kwa
生活	n ^h ts ^h o wa	痕跡	r ^h dzi ɕ ^h əl
給料	hoq	沈殿物	ʂŋək ma
分け前	ʂke	影	tə ma
工場	βzo tʃa	色	m ^h doq
市場	n ^h ts ^h oŋ ra	夢	fi ^h ŋə lam
税金	t ^h el	精神	w ^h lo
優待	han t ^h oq	考え	ϕ ^h sam ts ^h əl
用途	h ^h tɕot fi ^h go	外見	βzo ʂta
原因	r ^h ʃə m ^h ts ^h an	事情	li ʂka / ϕ ^h ca wa
答え	lan	方法	t ^h ap / p ^h kot pa
飢饉	mə ke	性格	fi ^h dzə wa
苦しみ	r ^h duŋ ŋ ^h el	力	ɕ ^h uk / ɕ ^h et
間違い	nor fi ^h dəl	命令	p ^h kwa
危険	n ^h en k ^h a	監獄	p ^h tson ŋ ^h k ^h æŋ
区別	ɕ ^h at par	うわさ	k ^h a ŋ ^h t ^h uk
空間	war ʒtsæŋ	罪	n ^h i wa

契約	kan ^h dza	国家	ʔjal k ^h ap
裏地	nəŋ ma	経験	ŋam ŋoŋ
歯磨き粉	s ^h o ʔman	会議	ts ^h oq ⁿ də
裸足	ʔkaŋ ʔdzen	距離	t ^h aq ra
引き出し	ŋ ^h en ^h gam	歩行	ʔkaŋ t ^h aŋ
武器	m ^h ts ^h on tɕ ^h a		
勝利	ʔjal k ^h a		

位置方角

方向	ʔtɕ ^h oq	頂上	h ^h lat
東	ɕ ^h ar	上側	ʔtot / jar
南	lo	下側	jot / mar
西	nəp	上	t ^h oq
北	ɕæŋ	下	jot
中間	ʔcəl	下の方	jot
そば	ŋjam	高いところ	k ^h a
左	ʔjon	上のほう	ŋo
右	ʔji	ふもと	n ⁿ dap
前	ʔŋən	以上	jan tɕ ^h at
後	tə qa	以下	man tɕ ^h at
外側	ɕ ^h ə	上へ	jar
内側	næŋ	下へ	mar
隅	zər	上半身	k ^h oq ^h tot
先端	ʔtse	下半身	k ^h oq ^m at
周り	ŋk ^h or juk	端	m ^h a
近所	ŋe ⁿ dap	底	m ^h əl / zəp
境界線	k ^h am m ^h ts ^h am / s ^h a m ^h ts ^h am		

時間

時間	ti ts ^h ot	明日	s ^h aŋ ŋin
今日	tə reŋ	あさって	ʔnaŋ ŋin
昨日	k ^h e saŋ	しあさって	h ^h zi ŋin ka
おととい	k ^h e ŋin	今晚	to ʔgoŋ
さきおととい	k ^h a ʔzi ŋin ka	明日の晩	s ^h əŋ nəp / s ^h aŋ ʔgoŋ

昨日の晩	^m da ʀgoŋ	上旬	ʀda ^h tot
昼間	ŋin dər	中旬	ʀdɛ ^s cəl
朝	næŋ mo	下旬	ʀda ^m dʒuk
正午	ŋin koŋ	誕生日	^s ce ^s kər
夕方	ɕ ^h ə ʈo	年	lo
夜	ʀgoŋ mo	年齢	lo
夜中	^m ts ^h an mo	最近	ŋen tɕ ^h ər / tɕŋ s ^h aŋ
真夜中	^{fi} nam koŋ	今年	to ts ^h ək
晦日	^{fi} nam kaŋ	去年	na nəŋ
えと	lo ^s taq	おとどし	^{fi} zɪ nəŋ lo
ね	ɕɕə wa	来年	s ^h aŋ lo
うし	^{fi} læŋ	再来年	^{fi} naŋ lo
とら	^s taq	以前	^s ɲa mo
う	ju	昔	^{fi} na ti
たつ	^m dʒuk	今	ta ʀta
み	wɖəl	未来	ma ɣoŋ wa
うま	^s ta	はじめ	ŋgo ⁿ dʒot
ひつじ	luk	月曜日	^{fi} za ʀdɛ
さる	ɕtɕel	火曜日	^{fi} za mik mər
とり	ɕɕa	春	ɕtɕet k ^h a
いぬ	c ^h ə	夏	wjar k ^h a
ぶた	p ^h aq	秋	^h ton k ^h a
日	ts ^h i	冬	ʀgən k ^h a
1日	ts ^h i ʒtɕik	新年	lo ^h sər
2日	ts ^h e ^ɸ ŋi	閏月	ʀda laq
月	ʀdɛ	冬至	ʀgən nə ʀdoq
午前	^s ɲa ʈo	夏至	wjar nə ʀdoq
午後	ɕɕ ^h ə ʈo	日食	nə ⁿ dzən
1月	ʀdɛ taŋ bo	月食	ʀda ⁿ dzən
2月	ʀdɛ ^ɸ ŋi pa	祭り	ti tɕ ^h en
12月	ʀdɛ p ^t ɕə ɸŋi		

数字

一	ʒtɕik	五十	^f ŋa p ^t ɕə
二	^ɸ ni	五十四	^f ŋa p ^t ɕə ŋa βzə
三	^h sum	六十	tuk tɕə
四	βzə	六十五	tuk tɕə re ^r ŋa
五	^s ŋa	七十	^b dən tɕə
六	tuk	七十六	^b dən tɕə ton tuk
七	^b dən	八十	^b jɛ tɕə
八	^b jat	八十七	^b jɛ tɕə ca ^b dən
九	^r gə	九十	^r gə p ^t ɕɯ
十	p ^t ɕə	九十八	^r gə p ^t ɕɯ ko ^b jat
十一	p ^t ɕə ʒtɕik	九十九	^r gə p ^t ɕɯ ko ^r gə
十二	p ^t ɕə ^ɸ ni	百	^b ja
十三	p ^t ɕə ^h sum	百一	^b ja da ʒtɕik
十四	p ^t ɕi βzə	百八	^b ja da ^b jat
十五	p ^t ɕə ^r ŋa	八百八十	^b jɛ ^b ja ^b jɛ p ^t ɕə
十六	p ^t ɕə duk	千	^s toŋ
十七	p ^t ɕə ^b dən	万	t ^h ə
十八	p ^t ɕə ^b jat	十万	^m bum
十九	p ^t ɕə ^r gə	百万	ϕ ^ɕ e wa
二十	ŋə ɕ ^h ə	千万	s ^h a ja
二十一	ŋə ɕ ^h ɯ ʒtɕik	一億	toŋ p ^t ɕ ^h ər
二十八	ŋə ɕ ^h ^b jat	半分	ϕ ^ɕ ^h e k ^h a
三十	s ^h um tɕə	第1	taŋ bo
三十二	s ^h um tɕə s ^h o ^ɸ ni	第2	^ɸ ni ϕ ^ɕ a
三十八	s ^h um tɕə s ^h o ^b jat	両/2	to
四十	βzə p ^t ɕə		
四十三	βzə p ^t ɕə zɛ ^h sum		

数量詞

1 人	^m ŋə ʒtɕik	1 本の草	^s tɕa ^s kaŋ ʒtɕik
1 碗	ʒtɕik	1 粒の米	^m dʒi ^r doq ʒtɕik
1 腔	k ^h oq	1 つかみの野菜	ts ^h e nu ϕwa ra kəŋ

2 つかみの米	m ^d i h ^h par wa to	1 斗	p ^h tɛ kaŋ
1 杯	p ^h oŋ ʒtɛik	1 升	p ^h tɛ tɛ ^h oŋ kaŋ
1 桶の水	tɛ ^h ə zom kæŋ	1 里	le ^f war ʒtɛik
1 碗のごはん	m ^d i h ^h kar jol kæŋ	1 尺	t ^h e tse kaŋ
1 つかみの土	s ^h a ʒa ʒtɛik	1 咫	m ^h t ^h o kaŋ
1 時間	tɛ ^h ə ts ^h ot ʒtɛik	1 [指の幅の単位]	s ^h or kaŋ
1 輪の花	me toq ʒtɛik	1 [肘の長さの単位]	tɛ ^h ə kæŋ
1 文	ts ^h ik ʒtɛik	1 寸	ts ^h un kaŋ
1 そろいの靴	ɣam tɛ ^h a ʒtɛik	1 対の牛	tor ʒtɛik
1 対のウサギ	rə ɣoŋ tɛ ^h a ʒtɛik	1 元	f ⁱ gor mo ʒtɛik
1 群れの羊	luk tɛa ʒtɛik	1 角	toŋ ʒtɛik / mo kaŋ
1 区画の道路	lam tɛ ma ʒtɛik	1 分	h ^h kar ma kaŋ
1 節	ts ^h ik ʒtɛik	1 畝	mo ʒtɛik
1 日の旅程	n ⁱ n lam ʒtɛik	少しの間	jət tsəm
片方の靴	ɣam ja ʒtɛik	1 日	nən ʒtɛik
1 巻きの紙	f ⁱ dep ʒtɛik	1 夜	m ^h ts ^h an ʒtɛik
1 口の食事	za t ^h oq ʒtɛik	1 か月	r ^h de ʒtɛikk
1 枚の布	ri k ^h a kaŋ	1 年	lo ʒtɛik
1 かご	lan wo kaŋ	1 歳	lo ʒtɛik
1 セット	tɛ ^h ə ra kaŋ	一生	ts ^h e ʒtɛik / m ^h nə ts ^h e ʒtɛik
1 歳の馬	k ^h a ʒtɛik	1 歩	kom ba kaŋ
1 個の荷物	r ^h ap ʒtɛik	1 度	t ^h æŋ ʒtɛik
1 袋	k ^h uk ma kaŋ	1 声あげる	s ^h ka ʒtɛik ^h toŋ
1 隊	h ^h kor ʒtɛik	1 回打つ	ʒtɛik r ^h op
1 列の家	f ⁱ k ^h æŋ ba ^h tar ʒtɛik	1 噛みする	k ^h am kaŋ m ^h dat s ^h o ʒtɛik ^h tap
1 串の玉	m ^h t ^h ɛŋ h ^h kor ʒtɛik	いくらか	k ^h a ɕ ^h i / ŋga zək
1 滴の油	t ^h ək pa ʒtɛik	いくつか	k ^h a ɕ ^h i / ŋga zək
2 階	s ^h tsek t ^h oq ^h n ⁱ	毎日	nən ^h de
1 つの部屋	f ⁱ k ^h æŋ mək ʒtɛik	それぞれ	re re
1 包み	n ^h təm ʒtɛik	1 倍	r ^h dap ʒtɛik
1 瓶の酒	ɕ ^h el tam kaŋ	毎晩	r ^h goŋ s ^h tar
1 つの泥	n ^h dam h ^h kor ʒtɛik	1 すくい	h ^h par wa
1 斤	r ^h ja ma kaŋ		
2 銭	zo to		

代名詞

私	ɲa	あれ (近)	te
私たち 2人	wo ɲi ka	あれ (遠)	hu
私たち	ɲa ts ^h o	あれら	te ts ^h o
あなた	c ^h ot	あそこ	te na
あなた (敬称)	c ^h et	あの辺	te φ ^h oq
あなたたち 2人	c ^h o ɲi / c ^h e ɲi	あのような	te s ^t ar
あなたたち	c ^h o ts ^h o / c ^h e ts ^h o	誰	s ^h ə
彼 (彼女)	k ^h o	誰ら	s ^h ə s ^h ə
彼ら 2人	k ^h o ɲi	何	tɕ ^h ə zə
彼ら	k ^h o ts ^h o	どこ	kæŋ na
我々	ɲa raŋ ts ^h o	いつ	nam zək / nam zik
我々 2人	ɲa raŋ ɲi	どのように	kaŋ ⁿ ɖa
皆	ts ^h aŋ ma	どれくらい	tɕ ^h ə ts ^h e
自分	raŋ	いくつ	tɕ ^h ə ts ^h e
他の人	vzan ba	そのほか	k ^h a k ^h a
これ	ⁿ də	おのおの	s ^h o s ^h o
これら	ⁿ də ts ^h o	一切	ts ^h aŋ ma
ここ	ⁿ də ʒtər / ⁿ də na	すべて	ts ^h aŋ ma
この辺	ⁿ di φ ^h oq	今回	ta t ^h æŋ
この2つ	ⁿ də ɲi k ^h a	いつか	s ^h kap ^h kap / ^m ts ^h am ^m ts ^h am
このような	ⁿ də ⁿ ɖa		

形容詞

大きい	tɕ ^h e	長い	rə ɲu
小さい	tɕ ^h oŋ	短い	t ^h oŋ t ^h oŋ
太い	wrom	遠い	t ^h aq reŋ
細い	^m t ^h a	近い	t ^h aq ɲe
高い	^m t ^h o	中間の	^m ɖæŋ wa
低い	ʒma	幅広い	r ^h ja xjə bo
凸の	^m bər ^m bər	狭い	toq po / r ^h ja tɕ ^h oŋ tɕ ^h oŋ
凹の	qo qo	広々した	jaŋ s ^h a
でこぼこの	^m ba re ^m bə re	狭窄の	toq toq

厚い	ⁿ tʰu χu	まぶしい	γot zer zer / γot tʰæŋ tʰæŋ
薄い	ʂap ʂap	暗い	mən naq
深い	zap mo	重い	^f dzi mo
浅い	ʂap ʂap	軽い	jæŋ mo
満ちた	kæŋ	速い	^m ʃo γa
空の	^s to ŋa	ゆっくりの	ka le
多い	ma ŋa	早い	^s ŋa
少ない	ŋoŋ ŋoŋ	遅い	ϕ ^h ə
四角い	βzə tə ma	鋭利な	^s ŋo
丸い	γor γor	鈍い	^s ŋo met
平たい	lep lep	澄んだ	tæŋ mo
尖った	^s tse tçen	濁った	ŋo qə
はげた	^s ca ^ŋ go / ^m go ^r do	太った	ts ^h on bo
水平の	^b de mo	肥えた	^r jaq
おもての	tæŋ ϕ ^h oq	やせた	ç ^h a ^s kam
うらの	^r doq ϕ ^h oq	乾いた	^s kam bo
命中した	ⁿ tʰik po / ⁿ tʰək mo	湿った	ʋlon ba
偏った	^u jon	濃い	ka ro
歪んだ	ⁿ tç ^h oq / ^u jo	希薄な	tæŋ mo
横の	^m tʰet	密な	ts ^h əq tam bo
縦の	tæŋ mo	疎な	ʂap ʂap
まっすぐな	tæŋ mo	硬い	ʂa mo
曲がった	coq coq / kuk kuk	軟らかい	^h ŋə mo
曲がりくねった	caq qe coq qe / ca qe co qe	粘つく	^m dza ro
黒い	naq po	つるつるの	ⁿ dzəm bo
真っ黒の	naq tʰæŋ tʰæŋ	ざらざらの	^s tsu po
白い	^s ka ro	滑る	^b dar
赤い	ɣma ro	きつい	^f dam / ^r dom
真っ赤の	ɣmar tʰək tʰək	ゆるい	lot
黄色い	s ^h e ro	固い	ʂa mo
真っ黄色の	s ^h er həŋ həŋ	乱れた	^s ŋoq ⁿ tʰəl / ^s ŋoq ⁿ duk
緑の	^r dzəŋ k ^h ə	めちゃくちゃの	tsa re tsa re
青い	^s ŋon bo	正しい	ⁿ dək / re
真っ青の	^s ŋo ç ^h ər ç ^h ər	誤った	nor / ^m tʰuk
灰色の	^s ca ^s ca	真の	ŋo ma / ^b den ba
明るい	ɣsə lo	にせの	^r dzən ma / ç ^h or ^p ca

生の	vlon ba	清潔な	ʒsar ma
新しい	ʒsa ra	汚い	ʔtso ɣa
古い	ʰɲiŋ ŋa	生きている	ʒson bu
よい	ŋan kə / jə ɣa	新鮮な	ʒsa ra / sʰo ma
悪い	ma ŋan kə / ʰdu xu	死んだ	ɕʰə wo
弱い	ʰdu xu	明確な	ʰse la
高い	koŋ tɕʰe bu	おいしい	zə bo
安い	koŋ kʰe mo	聞きよい	sʰŋan bo
育ちすぎの	ʰgi pa	見よい	sʰŋej ʳdʒe / sʰŋej ʳdʒe wo
年老いた	lo lon	うるさい	ʳdʒa tɕaŋ pa
若い	lo tɕʰoŋ	つらい	kʰaŋ
美しい	m̄dzi pʰo / jæŋ ma	退屈な	sʰem mə s̄cit pa
醜い	s̄tso ɣa	急ぎの	p̄tel ʰtsʰup
熱い	t̄o	色とりどりの	tʰa tʰa
寒い	ʰcʰæŋ	賢い	rə xa ʳno
暖かい	t̄o ʰdzam	愚かな	w̄lun
温暖な	t̄on bo	正直な	t̄æŋ mo / ʰden ba
涼しい	ʔsi mo	ずる賢い	s̄jo ʳjə
難しい	s̄ka mo	注意深い	z̄ip tsʰəŋ
簡単な	s̄tsa mo	和やかな	kʰa ʰdzam bo
芳しい	t̄ə zim	傲慢な	ŋa ʳjal
くさい	t̄ə ŋan	適当な	ʰtsʰam bo
おいしい	t̄ə ma zim	凶悪な	p̄tsan bo
酸っぱい	s̄cə ru	厳しい	ŋar wa
甘い	m̄ŋa ru	遠慮深い	m̄dzə m̄dze
にがい	qʰa mo	けちな	sʰer ŋa
辛い	kʰa tsʰa	まじめな	s̄kup jaŋ mo
塩辛い	tsʰa kʰə	怠惰な	s̄jo ʳjə / s̄kup ʰdzə mo
淡泊な	tsʰa ɲoŋ	平凡な	s̄kuk s̄təŋ ʰtan
渋い	qʰa wa	行儀のよい	kʰa la ŋan bo
魚くさい	tɕʰaŋ t̄ə kʰa	がんばった	s̄tson ʰdʒi
脂っこい	jin ba loŋ pa / ʳdʒen kʰa loŋ pa	かわいそうな	s̄ŋej ʳdʒe
暇な	kʰom ba	うれしい	ʳga
忙しい	kʰom ba met	幸せな	ʰde s̄cit
裕福な	ʔɕʰu xu	平和な	ʰde ʰdzəŋ / ʰde mo
貧しい	xul wo	悲しい	ʳduk s̄j̄al

精通した	^m k ^h i ba	近所の	ɲe
親切な	^m dza ^s tse	まあまあ	?a la pa la
嫌な	s ^h ən bo	珍しい	ja ^m ts ^h an
単独の	^s caŋ ma		
崖の多い	^v zar po		

動詞

愛する	^r ga	閉ざす	^s tsam
好きだ	^r ga	編む	^w la
固定する	ɸ ^t at	変わる	^l jər
淹れる	^s kol	変える	^h jər
抜く	ɸ ^q oq	病気である	na
耕す	^p tæq	繕う	təp / lan bo ^r jæq
壊して開ける	^r gar	補修する	lan bo ^r jæq
整理する	^h dək	布施する	^β zən ba ^s tə
振る	ɣjuk	拭く	ɸ ^ç il də ɸ ^t çe
負ける	ham	拭き消す	ɸ ^ç il dər
拝む	ɸ ^ç hæq ⁿ ts ^h e	なぞかけをする	k ^h et
引っ越す	ɸ ^ç o	答えを当てる	ⁿ t ^h ək
移動させる	t ^ç er	裁断する	tə
助ける	roq ram	踏む	^r dzə
結ぶ	^r gæq	参加する	^h zək
包む	^h dəl	隠す	^s koŋ
秘密を守る	ɣsæŋ	搔く	^r dar / ^m t ^h uk
保護する	^h təŋ / ^h təŋ ^s cop	はさみ込む	ⁿ dzək
満腹になる	^β zæq	検査する	ɸ ^ç er
掘る	^m bər len ^r jæq / ^β zoq	縫い目を解く	ɸ ^ç ik
むく	ɸ ^ç ə	破壊する	ɸ ^ç ik
はぐ	ɸ ^ç at	粉碎する	zək
剥げる	koq	手で支える	^s cor
暗唱する	^w lo fia ⁿ dot	撒く	ɣe luk
背負う	k ^h ər	混ぜる	ⁿ də
断食する	ɲej ^h ni ^h təŋ	ねじる	ⁿ dəq
強制する	^p tsan ^ç et ɸ ^ç et	大食いする	k ^h a ^h k ^h ol
比べる	^r dər	味わう	^w ro ra ^s ta

弁償する	ɤcin ba	吹き飛ばす	p ^h ə ji
歌う	len	打つ	ɽdoŋ
騒ぎたてる	ɣər ɽjæq	殴る	ɤtol
炒める	ɤŋjo	完全に穴が開く	ɽdol
けんかする	k ^h a n ^h dze	刺し傷が痛む	ɸ ^h zer / ts ^h a
沈む	ɽdzi bo	急ぐ	n ^h det
量る	n ^h dzal / ts ^h at	よじる	p ^h kwel
ほめる	h ^h to tɕ ^h a	間違う	nor
支える	n ^h dəq	答える	k ^h i len
傘を開く	ɽjoŋ	ぶつ	ɽdoŋ
完成する	n ^h dəp	身振りで表す	laq w ^h da ɸ ^h ɕet
盛る	ɸ ^h luk / p ^h tɕə	狩をする	ɤmon
持ちこたえる	tɕ ^h ət	撃つ	wu ɽjæq
認める	ŋjo len	当てる	hoq
清める	taŋ ɤŋik	けんかする	ɽjəq ri
食べる	za	散らかす	ɣtor
撒き散らす	ɣɕar	分ける	n ^h t ^h or
ほとぼしる	ɸ ^h ɕal	倒す	zoq
すりつぶす	ɽduŋ	引いてくる	len
持ち出す	n ^h dot / n ^h don	薪拾いをする	ɕ ^h en n ^h t ^h ə
タバコを吸う	n ^h t ^h en	賭ける	ɸ ^h jen n ^h dzuk
鞭打つ	ɽdoŋ	脱穀する	ɸ ^h jəl li ɣtoŋ
出る	ɸ ^h tɕ ^h ə la ɽjo	居眠りする	ɸ ^h nil joŋ
取り出す	n ^h don	あくびする	ɸ ^h le mo ɸ ^h ɕet
日が昇る	ɕ ^h ar	しゃっくりする	hə ra jit
出てくる	n ^h jo	おくびを出す	ɽgaq t ^h ət
掘り起こす	ɤɕet	開ける	ɸ ^h ɕ ^h e
召し上がる	βzi / con	稲光がする	t ^h oq ɸ ^h jæq
着る	kon	雷が鳴る	m ^h duk ɸ ^h dza ɸ ^h dɔq / m ^h duk ɽjæq
履く	kon	持ち歩く	ɕ ^h er
穴に通す	ɽjən	戦争に行く	ɸ ^h ma ɽjæq
穴が開く	wuk	結び目を作る	m ^h də pa jet
穴を開ける	m ^h buk	いびきをかく	ɤŋər n ^h t ^h en
伝承する	ɽjət	くしゃみする	hap tɕ ^h ə ɽjæq
伝染する	n ^h gu	世話をする	ɕ ^h ət
吹く	hor	導く	ɕ ^h ət

(帽子を) かぶる	kon	渡る	^w gal
(布を) かぶる	^h tə	切れる	tɕ ^h at
(腕輪を) 身につける	jet	折れる	tɕ ^h æq
生まれる	^h t ^h oŋ	ちぎる	ʒtɕot
遅れる	^ŋ gor	折る	ʒtɕæq
さえぎる	^ŋ goq	積む	ʔsəŋ
倒れる	loq	隠れる	kap
倒す	^h loq	切り分ける	ʒtsap
つき砕く	^r doŋ	印を押す	^r duk
裏返す	^ŋ go m ^d zək ^h loq	飢える	^s toq
着く	ⁿ dzor / t ^h on	押しつける	^h nan
得る	ⁿ t ^h op	起こる	ⁿ dzoŋ
待つ	re ^r guk	発展する	^m p ^h e ^h gi
地が震える	s ^h a ^ŋ gi	発展させる	^h pel
頭を下げる	^m go ^h gər	怒る	ts ^h ə ɣa za
うなづく	^m go ^ŋ gi	誓う	^m na ^s ci
点火する	^m ne ^h ɣen	身震いする	ⁿ dar
燃える	^m bar	発酵する	^h al
灯す	^v loq ^h ɣen	熱がある	ts ^h a m ^t ɕ ^h əl
詰め物をする	^h dæŋ	心配する	^s co ^s naŋ ^ʔ ɕet
しおれる	^h ŋət	発芽する	^m ŋə kə ^m bi
ほおぼる	ⁿ dzən	罰する	tɕ ^h a p ^h a p ^t ɕat
落ちる	loŋ	翻す	p ^t ɕ ^h ə naŋ ^h loq
吊るす	^v zar	振り返る	?a loq ^r jæq
釣る	ⁿ dzə	反対する	ŋo ^r gol ^ʔ ɕet
転ぶ	loq	翻訳する	^b jər
重ねる	^h doq	反芻する	^r de ^r jæq
噛みつく	^r jæq	つむぐ	^h k ^h əl
なくす	wor	放置する	ⁿ dzoq
理解する	ɕ ^h i	入れる	^r jæq / lep
(肉が) 凍る	ⁿ q ^h eŋ	放牧する	zoq ⁿ ts ^h o
(手が) 凍る	^h gæŋ ⁿ q ^h eŋ k ^h əm	火をつける	^m ne ^h toŋ
動く	^ŋ gəl	飛ぶ	^m p ^h ər
ちょっと動く	^h gəl	分かち合う	^b go
読む	ⁿ don	分家する	^b go
ふさぐ	ⁿ ts ^h aŋ	分離する	ⁿ t ^h or

分かれさせる	ʔtor	関心を持つ	s ^h em k ^h ər φ _{çet}
狂う	m ^h o	閉める	ʔjop
縫う	n ^h ts ^h em	囲い込む	k ^h oq
塗る	ʔkət / φ _{çuk}	管理する	to tam φ _{çet}
孵る	rəm	灌漑する	luq
手を置く	ʔcor	跪く	wor mo p ^h tsuk
適合する	m ^h tən	転がる	n ^h dɛ loq n ^h dep
適合させる	φ _{tən}	年越しする	lo ʔsar ^h tæŋ
腐る	ri	渡る	ʔgi
かぶせる	n ^h gep	経る	s ^h oŋ
かぶる	kon	恥ずかしがる	ŋo ts ^h a
乾く	ʔkam	怖がる	ʔcæq
喉が渇く	n ^h gam	呼ぶ	m ^h bot
働く	li / li ʔka φ _{çet}	叫ぶ	ʔkat ʔjæq
市場へ行く	t ^h om naŋ n ^h jo	溶接する	ts ^h a la cət
風邪を引く	tɕ ^h am ba na	飲む	n ^h t ^h oŋ
あえてする	hot	適切である	n ^h dək
言う	φ _{çat}	閉じる	k ^h a ʔjæq
告訴する	cot ʔjæq	うらむ	n ^h k ^h on n ^h dzən φ _{çet}
切り分ける	p ^h tɕat	火であぶる	ʔto
切断する	ʔtɕot	なだめる	ɣər n ^h tɕ ^h at
切ってしまう	ʔtɕot	悔いる	n ^h jot pa φ _{çet}
刈る	m ^h dɕq	こぐ	ʔtæŋ
隔てる	cot	描く	p ^h tə
靴擦れを起こす	ʔnot	身ごもる	za zi ^b dat
与える	β _{zən}	疑う	to ɣa za
ついて行く	ʔdzi / n ^h det ts ^h e	払い戻す	ʔtat
耕す	n ^h dep	返却する	har ʔtat
つるす	n ^h dzən	交換する	ʔdze
いっぱいである	ts ^h aŋ	振る	ʔjuk
計る	ts ^h ot ^h paq φ _{çet}	帰る	loq
雇う	ʔla	帰らせる	n ^h loq
剃る	β _{zar}	思い出す	tan
風が吹く	v ^h loŋ ^h juk	答える	lan n ^h dep
つるす	n ^h gi	破壊する	nəp
電気を消す	ʔjæq	できる	ç ^h i

混ぜる	ϕse ^h ka	牛が鳴く	zoq ŋar
攪拌する	ʂŋoq	犬がほえる	c ^h ə zək
生きている	s ^h u	ぶたが鳴く	haq ŋi ze
支える	hso	羊が鳴く	luk ^m ba
手に入れる	n ^h op	虎がほえる	ʂtaq ŋar
水で混ぜる	r ^h dzə	狼がほえる	ϕcəŋ kə ŋə
(水が) 集まる	n ^h c ^h i	呼ばれる	m ^h neŋ ^m bot
積もる	hsoq	剥く	ϕc ^h e
(人が) 集まる	n ^h ts ^h oq	結氷する	tar t ^h c ^h æq
集める	n ^h ts ^h oq	結婚する	ʂton mo ji
搾り出す	ʒt ^h c ^h ər	ほどく	t ^h ol
搾る	βzo	お金を借りる	ʂjar
はさむ	ʒt ^h c ^h ər	ものを借りる	ʂjar
覚えている	t ^h an	浸す	w ^h ræŋ
預ける	p ^h t ^h col	禁じる	n ^h goq / p ^h kwæq
送る	ʂkər	浸す	t ^h əm
うらやむ	p ^h t ^h əq toq ϕc ^h et	入る	naŋ la ^h ʃo
忌む	n ^h dzem	びっくりさせる	t ^h oq
締めつける	p ^h t ^h c ^h ej	びっくりする	t ^h oq
はさむ	len	救う	ʂcop
選び出す	r ^h gəm	住む	fi ^h dot
減らす	hap	挙げる	coq
はさみで切る	p ^h t ^h e	のこぎりで切る	s ^h əq lə
語る	ϕcat	完全にする	n ^h dzom
落ちる	m ^h bap	巻く	fi ^h dəl
交換する	b ^h dze ri ϕc ^h et	縮む	n ^h k ^h əm
交付する	ϕt ^h ot	掘る	ʂku
交わる	fi ^h dək	邪魔する	n ^h t ^h oq
水を引く	r ^h duk	邪魔させる	n ^h t ^h oq
こげる	n ^h ts ^h ək	開ける	ϕc ^h e
噛む	mər	沸く	h ^h ku
教える	h ^h lop	開く	ka
鳥が鳴く	ϕca ʂkat t ^h æq	運転する	ʒtoŋ
猫が鳴く	li li t ^h æq	始める	n ^h go ʂtsom
ロバが鳴く	kə rə ŋar	開墾する	s ^h a r ^h got h ^h loq
馬が鳴く	ʂta ^m ts ^h er	切り倒す	ʒt ^h cat

切る	ʔtɕot	耳が聞こえない	yon
見る	ʂta	抱きしめる	rəm
見せる	ʂton	漏らす	zəq
見える	m ^h oŋ / rək	混乱する	ʂtʉk
医者に見せる	man na ^h ton	濾す	ts ^h əq
かつぐ	k ^h ər	乱す	ʎ ^h tʉk
暖める	ʂo	転がす	ri ʎ ^h k ^h or
頼る	k ^h en	積み重ねる	ʂtsəq
ぬかずく	ɸ ^h æq n ^h ts ^h əl	日が沈む	nəp
咳をする	ʎ ^h lo fia na / ʎ ^h lo fia ^r jæq	しびれる	wrət
渴く	k ^h a ʂkom	叱る	ŋar
刻む	ʂku	埋める	ʂŋan
賛成する	ŋan	買う	ŋo
かじる	mɖat	売る	n ^h ts ^h oŋ
ほじくる	len	満ちる	p ^h kæŋ
ボタンをかける	ʎ ^r jo ʂo ʎ ^r joq	ない	me / met
暇である	k ^h om ba	燃え尽きる	ɸ ^h ə
泣く	ŋə	さえずる	ʎ ^r jæq
眠たい	ʂŋit joŋ	唇を軽く閉じる	zom
引く	n ^h ten	理解する	ha ko
排泄する	ʂcəq pa ^h toŋ	触れる	rəq
辛い	k ^h a ts ^h a	研ぐ	b ^h dar
漏れる	ʎaq	粉をひく	m ^h t ^h aq
来る	joŋ / ɸ ^h oq (IMPR)	つかむ	len
引っ張りあげる	len	持っておく	lon
年をとる	ʎgi	掻く	m ^h t ^h uk
手綱で制御する	k ^h a p ^h tsər	できる	t ^h əp
疲れる	ʂka	枯れる	ʂŋət
つなぐ	m ^h t ^h ət	凝固する	ʎ ^h c ^h æq
量る	ts ^h ot	絞る	ɸ ^h tɕər
乾かす	ʂkam	嘔吐する	ʂcuk
おしゃべりする	k ^h a b ^h da ji	這う	ʎgo
裂く	ki	這って歩く	ʎgo / ʎjo
ずぶぬれにする	ʎlon ba	山に登る	m ^h dzar
流れる	ɸ ^h car	木に登る	m ^h dzar
とっておく	zoq	叩いて音を出す	ʎdap

整列する	^h dək	追い出す	^b da
派遣する	^m ŋaq	取る	len
弧を描く	^h k ^h or	娶る	len
走る	^r juk	行く	ⁿ jo / ^{s^h} oŋ
茶を入れる	^w ræŋ	回復する	təq
賠償する	ⁿ dze	治癒する	təq
埋め合わせる	^r dəp	欠ける	tɕum
身につける	ⁿ t ^h əq	完全である	ts ^h aŋ
膨張する	^w ru	染める	ts ^h o ^h tso
衝突する	^r doŋ	叫ぶ	^h go xor / yor tər ^r jæq
木を切る	^p kwe	道を譲る	lam ɕ ^h e
浮く	hjaŋ	温める	tə
ほとぼしる	^m tɕ ^h ot	知り合う	ŋo ɕ ^h i
裂ける	ɕɕæq	投げる	^m p ^h en
破れる	t ^h et	溶ける	zə
壊れる	tɕ ^h æq	溶かす	βzə
傷つく	zik	もむ	^b dza
壊れる	tɕ ^h æq	耐える	ɕ ^h son
壊す	^p tɕæq	撒く	ɣtor
解剖する	ɣɕæq	小便する	ɣtɕən ^h tæŋ
敷く	ɣtoŋ	播種する	s ^h en ⁿ dep
手荒く扱う	t ^h əp ts ^h ot ɕɕet / ɕ ⁿ e t ^h oq	解散する	təl
だます	^m go ɕkor	ゆるめる	təl
レンガで造る	^s tsək	掃く	ɕ ^h æq
乗る	βzon	殺す	ɣsat
起きる	læŋ	ふるいにかける	^p tap
牽引する	ɕ ^h ət	日にさらす	ɕkam
負う	tɕ ^h at	日向ぼっこする	nə ma ɕaq
略奪する	^m t ^h oq	稲光が走る	ɣloq ^h ɕ ^h i
叩く	^r doŋ	傷つける	^h mi
振り上げる	^p ɕæq	相談する	cu ɕɕet
詮索する	ɣtɕoq	上がる	ⁿ jo
切り刻む	^h təp	射る	^m p ^h en
口づけする	po ji	射止める	hoq
軽んじる	tɕ ^h oŋ ^s ta βzet / ^m t ^h oŋ tɕ ^h oŋ ɕɕet	伸ばす	ɕcoŋ
要求する	zə wa	伸びる	nar

伸びきる	ⁿ h ^{en}	裂く	^b d ^ɛ l
にじむ	ⁿ h ^ə m	死ぬ	ɕ ^h ə
成長する	ɕ ⁱ	計算する	^b d ^a q
さびる	h ^{tsa}	粉碎する	t ^h ol
腫れ物が大きくなる	^m bət	傷つける	ɕ ^{con} ɕ ^h or
産む	ɕ ⁱ	錠をする	ʀ ^{jæ} q
腹を立てる	k ^h oŋ t ^h o laŋ	崩壊する	ʀ ^{də} p
残される	la ^ɔ q	踏みつける	ʀ ^{dap}
昇る	ɕ ^h ar	持ち上げる	^p cæq
なくす	^m bor	涙を流す	ɕ ^h or
させる	ⁿ d ^z uk	横になる	ŋe
釈放する	ʒ ^{to} ŋ / ^h tæŋ	やけどする	ɕəq
試す	ts ^h ot ^h ta ^ɸ ɕet	逃げる	^m d ^o
である	jən / re	物乞いする	ɕ ^{cə}
収穫する	^p təq / ʒ ^{tə} t	着る	ɕ ^{tsə} q
受け取る	^m d ^z or	頭痛がする	^m go na / ^m go ^{fi} zer
閉じる	hap	蹴る	ɕ ^{kæ} ŋ t ^h o ʀ ^{jæ} q
防御する	^β də ʒ ^{so} q ʀ ^{jæ} q / ^β də ʒ ^{so} q t ^ɕ i	剃る	^β z ^{ar}
守る	ɕ ^{to} ŋ	曇りである	^{fi} nam ^ɸ ɕən jot
髪をとく	^ɸ ɕat	晴れる	^{fi} nam tæŋ
負ける	ham	夜が明ける	nam ʒ ^{si}
顔見知りである	ʀ ^{ji} jot	暗くなる	^{fi} nam mən naq
調理される	ⁿ ts ^h u	なめる	ʀ ^{də} q
熟れる	ⁿ ts ^h u	担ぐ	^{fi} lək / ^p tɕ ^h a qa ^ɰ k ^h ər
やせる	ɕ ^{kam}	選ぶ	^b dam
数える	^b d ^a ŋ / ɕ ^{tsə}	踊る	^p t ^o ^ɰ tɕ ^h am
ゆすぐ	^ɸ ɕal	跳ねる	ʀ ^{dæ} ŋ
衰える	ŋam	脈打つ	^m aq
転落する	zəq / l ^o ŋ	貼る	^b d ^z ar
投げる	^m p ^h en	聞く	ŋan
かんぬきをする	ɕ ^{tɕæ} q	聞こえる	ⁿ t ^h or
結びつける	^p taq	止める	^m ts ^h am ⁿ d ^z oq
眠る	ŋe	知らせる	^b da ʀ ^{jæ} q
寝つく	ɕ ^ŋ ət	盗む	ɕ ^{kə}
吸う	ⁿ d ^z əp	投げる	^m p ^h en
話す	^ɸ ɕat	吐く	^m p ^h en

押す	^m bet	したいと思う	ϕ ^{sam}
口実を設けて断る	k ^h a β ^z æq	似る	ⁿ da
退く	p ^t ç ^h ər nər	消化する	zə
飲みこむ	^m ɲit	消える	jal
引きずる	tət	下る	ⁿ dzəq
脱臼する	ts ^h ək ^m bət	削る	^v zəq
背負う	^r jam ^ɟ gəl	気をつける	^h zaw ^h zap p ^t çi
掘る	^s ku	笑う	^r gwat / ^r gwat ç ^h or
切り出す	ⁿ don	書く	p ^t ə
曲がる	kuk	下痢する	ϕ ^ç e
曲げる	^ɟ guk	鼻をかむ	^m tç ^h it
終わる	ts ^h ar	目覚める	^s ɲi γə s ^h at
遊ぶ	^s tse mo ^s tse	恥ずかしがる	ŋo ts ^h a
忘れる	^b dzet	休む	me ço
違反する	^ɟ gəl	刺繍する	χ ^{ts} əq
餌をやる	^w luk	学ぶ	^h ɔp
におう	^s nom	燻製にする	t ^h əp
尋ねる	ⁿ də	探す	p ^t sə
握る	ⁿ dzə	押さえる	^h nan
ふさぐ	k ^h a ^ɟ gɛp	去勢する	p ^t çat
吸い込む	ⁿ dzəp	粉にする	^h ɲər
慣れる	lop	より分ける	ϕ ^ç ar
洗う	p ^ç ə	かゆい	za
好む	^r ga	育てる	χ ^{so}
目が見えない	za ra	揺れる	^ɟ gi
下りる	ma ra ^ɟ jo	揺する	^ɟ gi / ^ɸ juk
産む	^s ci	噛む	s ^h o p ^t ap / s ^h o ⁿ dep
卵を産む	χ ^t æŋ	掬う	p ^t çə
雨が降る	^h nam wap	必要である	^r gu
怖がらせる	^s çəq χət	引き入れる	ç ^h ət
陥没する	^r dəp	頼る	^s ten
捧げる	^m bəl	あふれる	wo p ^t ç ^h ər
慕う	hep laŋ	秘密にする	χ ^s æŋ
信じる	ji tç ^h i	勝つ	k ^h e
思う	ϕ ^{sam}	迎える	ϕ ^s hə
思い出す	tan	抱擁する	ⁿ dzə

泳ぐ	ɕɛl	蒸す	vlaŋ ^h tsu ^ϕ ɕet
持っている	jot	知っている	ko
いる	jot	織る	n ^t haq
存在する	jot	指す	n ⁿ dzuk mo
出会う	t ^h uk	種をまく	p ^t ap
時間を決める	ti ts ^h ot p ^t kwæq	腫れる	h ^t ʌŋ
越える	jol / wət	煮る	p ^t so
めまいがする	m ^g o jər ŋ ^k or	杖をつく	n ^t h ⁿ
許可する	tɕ ^h oq m ^t ɕ ^h an t ^h op / tɕ ^h oq	願う	m ^o ŋ lam n ⁿ dep
栽培する	r ^t mo	ひつつかむ	n ⁿ dzə
いる	jot	振り返る	k ^h a ^s kor
増える	ɕ ⁿ on	角を曲がる	k ^h uk ^h kor
彫刻する	m ^b uk	移動する	ŋ ^k or
刺す	n ⁿ dzer	移動させる	ɕ ^s kor
刺しこむ	r ^t jæq	詰める	p ^t ɕet / p ^t sət / r ^t də
瞬きする	m ⁿ ik r ^t dep	追いかける	n ⁿ det
抽出する	p ^t sək	準備する	tɕa ⁿ dək ^ϕ ɕet
摘む	n ^t s ^h oq	捉える	n ⁿ dzən
糊づけする	b ^d zar	ついばむ	n ^t hə
立つ	laŋ	行く	n ⁿ jo
引っ張って開く	^f idæŋ	呪う	^f im ^o n / ^f im ^o t
大きくなる	laq tɕ ^h æq	中に入る	n ⁿ dzəl
かさが増す	təq	穴を開ける	m ^b ək
腹が張る	w ^r u	酔う	β ^j æq
火をつける	m ⁿ e ɕ ^h or	座る	^f idot
風邪を引く	li ŋ ^c hæq	する	li
召集する	n ^t s ^h oq	夢を見る	^f im ^ə lam
探し出す	ɕ ⁿ et	商売する	n ^t s ^h oŋ r ^t jæq
刺す	r ^t jæq	連れる	roq ^ϕ ɕet
覆う	n ^g ep	仕方	ɕ ^o ɕet ^h tæŋ
震える	r ^t gi	証明する	b ^d en ^h paŋ ^ϕ ɕet
奪い合う	m ^t h ^o q ri ^ϕ ɕet		

その他の品詞類

のみならず	mə ts ^h at	一緒に	m ^h am tə / tɛ wa
～を除いて	te ma s ^h toq	必ず	jən ʔtɛik men ʔtɛik
ほとんど	p ^h el tɕ ^h er	～もまた	jaŋ
もちろん	lu	それから	te ni / ti na
たった今	ta tɕi / ta ri	再び	h ^h ar jaŋ
本来的に	s ^h tsa wa ni	少なくとも	ma m ^h a
そして	tæ	～まで	war tə / war ne
とても	ha tɕæ	もっとも	tɕ ^h i / ɕ ^h u
まだ	ta toŋ	最後に	m ^h a ma
今すぐ	m ^h ər tə / ʔjo ya	突然	h ^h lo wər tə
～か	ʔe		

Sound correspondences of the gSerkha dialect forms of Amdo Tibetan (rTa'u County) with Literary Tibetan, accompanied with a wordlist

Hiroyuki SUZUKI

abstract

This article provides a systematic sound correspondence between Literary Tibetan forms and the gSerkha dialect of Amdo Tibetan. The gSerkha dialect belongs to the rMewa dialect group, spoken in gSerkha Township, rTa'u County, Kandze Tibetan Autonomous Prefecture, Sichuan Province, China. The principal description of the sound correspondence is divided into three parts: initial [consonants] (Section 3.1), rhyme [vowel + final consonants] (Section 3.2), and phenomena in a whole syllable (Section 3.3).

A Japanese-gSerkha wordlist (ca. 2000 words) is attached as an appendix at the end of the article.

受理日 2021 年 4 月 10 日